

視覚障害者移動支援事業に係る生活交通改善事業計画について

1 経緯

令和6年度に実施予定の視覚障害者移動支援事業に国庫補助金を活用するに当たり、つくば市公共交通活性化協議会で生活交通改善事業計画を策定する必要があることから審議を行うもの。

2 視覚障害者移動支援事業について（詳細はP2参照）

視覚障害者向けナビゲーションシステム「shikAI(シカイ)」による移動サポートを行うため、視覚障害者誘導用ブロックのうち点状ブロック（警告ブロック）にQRコードを敷設、管理を行う。

3 国庫補助金について

(1) 活用予定の国庫補助金

ア 事業名：地域公共交通バリア解消促進等事業（概要はP3参照）

イ 補助対象者：運行事業者又はつくば市公共交通活性化協議会（※）

※事業の契約主体及び補助金の入金先もつくば市公共交通活性化協議会

(2) 申請スケジュール（予定）

ア 国土交通省から要望調査

イ 要望調査に対する内示

ウ 公共交通活性化協議会で生活交通改善事業計画を策定（本日審議）

エ 交付申請

オ 交付決定

カ 業者と契約手続き（令和6年10月予定）

※国の担当課が異なるため、要望登録や交付申請は鉄道関連（つくば駅ホームドア出入口からつくば駅地上出口まで）とバス関連（つくば駅地上出口からつくばセンターの各乗降場所）で分けて実施

4 審議内容

生活交通改善事業計画の策定について（計画の詳細へP4以降参照）

shikAIを活用した視覚障害者移動支援事業の概要

■目的

視覚障害者向けナビゲーションシステム「shikAI(シカイ)(※)」による移動サポートを行う。

※視覚障害者誘導用ブロックのうち点状ブロック(警告ブロック)にQRコードを敷設し、iPhoneのリアカメラで読み取ることで、現在地から目的地までの移動ルートを導き出し、音声で目的地まで案内するシステム

■効果

shikAIによる移動サポートを行うことにより、移動のバリアフリー化を図るとともに、鉄道とバスの乗換に係る安全性の向上が図られる。

■実施エリア(詳細は右図参照)

つくば駅構内～つくばセンター(つくば駅前バスターミナル)

■役割分担(QRコードの敷設について)

①首都圏新都市鉄道(株)

つくば駅ホームドア出入口(地下)からつくば駅地上出口まで

②つくば市公共交通活性化協議会

つくば駅地上出口からつくばセンター(つくば駅前バスターミナル)の各乗降場所まで

■スケジュール

令和6年10月 契約締結、各種手続き(道路占用許可等)

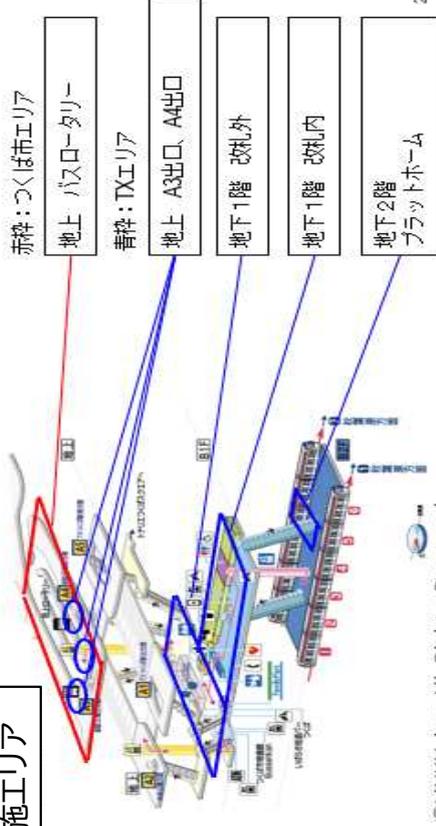
令和6年11月 設置工事

令和6年12月 運用開始



(shikAI)

実施エリア



©LINKX, inc. All Rights Reserved.



(令和5年6月に実施した実証実験の様子)

高齢者、障害者をはじめ誰にとっても暮らしやすく、社会づくりを進めるため、公共交通のバリアフリー化を一体的に支援。

・補助対象事業者：交通事業者等 ・補助率：1／3等

○鉄道駅、旅客ターミナル（バス・旅客船・航空旅客）のバリアフリー化、待合・乗継施設整備（段差の解消（※）、視覚障害者誘導用ブロックの整備等）

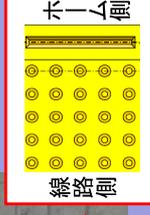
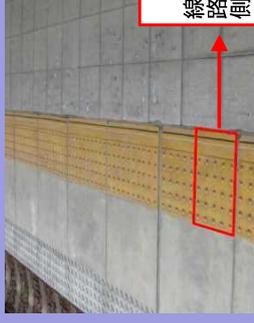
補助率：1／3



車椅子用階段昇降機



視覚障害者誘導用ブロック



○ノンステップバス・リフト付きバスの導入

補助率：1／4又は補助対象経費と通常車両価格の

差額の1／2のいずれか低い方（上限140万円）



ノンステップバス



リフト付きバス

○福祉タクシーの導入

補助率：1／3



福祉タクシー

※駅等のエレベーター整備など交通サービスのインバウンド対応は、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業等において支援。

令和6年度地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）
「つくばエクスプレスつくば駅～つくばセンター（つくば駅前バスターミナル）
生活交通改善事業計画（案）」

1. 事業の目的・必要性

筑波技術大学が首都圏新都市鉄道株式会社、つくば市の各々と包括連携協定を締結していたことから、令和5年度に3者連携事業として、LiNKX社のスマートフォン用アプリ「視覚障害者向けナビゲーションシステム『shikAI』（※）」（筑波技術大学監修）を活用し、鉄道とバスという複数の公共交通のシームレスな乗継ぎを安全に案内誘導することができるか実証実験を行った。

実証実験の結果、shikAIの有用性などが確認できたことから、令和6年度、つくばエクスプレスつくば駅～つくばセンター（つくば駅前バスターミナル）において、視覚障害者向けナビゲーションシステム「shikAI(シカイ)」による移動サポートを本格導入するもの。

（※）shikAIとは視覚障害者誘導用ブロックのうち点状ブロック（警告ブロック）にQRコードを敷設し、iPhoneのリアカメラで読み取ることで、現在地から目的地までの移動ルートを導き出し、音声で目的地まで案内するシステムをいう。

2. 事業の定量的な目標及び効果

つくば駅ホーム乗降口（地下）～つくば駅地上出口（A3出口、A4出口、エレベーター）～つくばセンター（つくば駅前バスターミナル）の各乗降場所に設置されている視覚障害者誘導用ブロックのうち点状ブロック（警告ブロック）にQRコードを敷設し、shikAIによる移動サポートを行うことにより、心のバリアフリー化を図るとともに、鉄道とバスの乗換に係る利便性及び安全性の向上が図られる。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

	鉄道部分	バス部分
事業内容 点状ブロック（警告ブロック）にQRコードを敷設	つくば駅ホーム乗降口（地下）からつくば駅地上出口（A3出口、A4出口、エレベーター）までに設置	つくば駅地上出口前（A3出口、A4出口、エレベーター）からつくばセンター（つくば駅前バスターミナル）の各乗降場所までに設置
事業を実施する事業者	首都圏新都市鉄道株式会社	つくば市公共交通活性化協議会

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担割合（予定）

総事業費 2,150,170円

<鉄道部分>

【内訳】

負担者	負担額	負担割合
首都圏新都市鉄道株式会社	856,800円	67%
国 (システム利用料を除く経費の1/3)	428,000円	33%
合計	1,284,800円	

<バス部分>

【内訳】

負担者	負担額	負担割合
つくば市公共交通活性化協議会	637,370 円	74%
国 (システム利用料を除く経費の 1/3)	228,000 円	26%
合計	865,370 円	

※国の負担額は補助対象経費（税抜）の 1/3 補助（1,000 円未満切り捨て）

5. 計画期間

- 令和6年10月 契約締結（国庫補助金の交付決定後）、各種手続き（道路占用許可等）
- 令和6年11月 設置工事（点字ブロック上にQRコードを敷設など）
- 令和6年12月 運用開始

6. 協議会の開催状況と主な議論

開催	年月日	場所	主な内容
第1回	令和5年6月19日	つくば市公共交通活性化協議会	つくば駅構内からつくばセンター（つくば駅前バスターミナル）において、5月～6月の4日間で shikAI 実証実験を実施したことを報告
第2回	令和5年11月18日	つくば市公共交通活性化協議会	実証実験の報告書を踏まえ、令和6年度につくば駅構内からつくばセンター（つくば駅前バスターミナル）に shikAI を本格導入することで進めていることを報告（首都圏新都市鉄道株式会社とつくば市の役割分担も説明）
第3回	令和6年7月4日	つくば市公共交通活性化協議会	計画全体について合意（予定）（※）

※鉄道に関することは令和6年6月6日付で関東運輸局鉄道部計画宛に書面協議済

7. 利用者等の意見の反映

- ・ 本事業を実施するに当たり、令和5年5月～6月の4日間で実証実験を実施し、国立大学法人筑波技術大学（視覚障害者と聴覚障害者を入学条件にした国立大学法人）の学生を対象に shikAI の有用性などの検証を行った。
- ・ つくば市公共交通活性化協議会で市民代表である各地区の代表区長など各委員に対して意見を伺った。

<つくば市公共交通活性化協議会の構成員>

市町村	つくば市都市計画部総合交通政策課
都道府県	茨城県政策企画部交通政策課

<p>交通事業者・交通施設管理者等</p>	<p>首都圏新都市鉄道株式会社、つくば警察署、茨城県土木部土浦土木事務所、一般財団法人つくば都市交通センター、一般社団法人茨城県バス協会、一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会、関東鉄道株式会社、ジェイアールバス関東株式会社土浦支店、株式会社セキショウキャリアプラス、筑波学園タクシー協同組合、新栄タクシー有限会社</p>
<p>地方運輸局</p>	<p>茨城運輸支局</p>
<p>その他協議会が必要と認める者</p>	<p>筑波大学教授、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人国立環境研究所、つくば市商工会、社会福祉法人つくば市社会福祉協議会、つくば市工業団地企業連絡協議会、一般社団法人つくば観光コンベンション協会、つくば市PTA連絡協議会、関東鉄道労働組合、つくば市都市計画審議会、利用者代表（筑波地区代表区長、大穂地区代表区長、豊里地区代表区長、桜地区代表区長、谷田部地区代表区長、荃崎地区代表区長）、つくば市福祉部長、つくば市建設部長、つくば市都市計画部長</p>

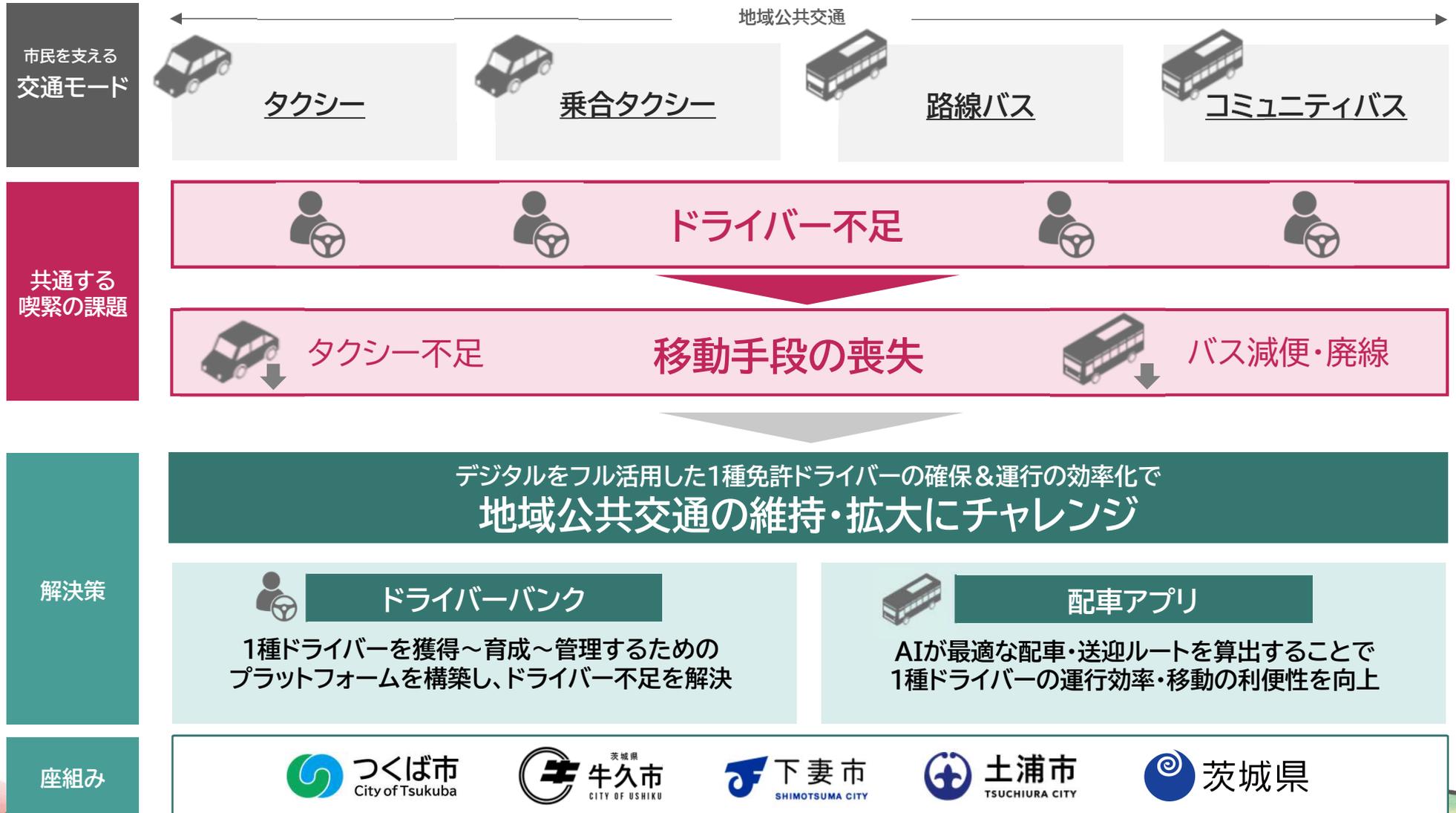
デジタル田園都市国家構想交付金(TYPES) を活用した自家用有償旅客運送事業について

令和6年(2024年)7月4日(木)

総合交通政策課

(1) 地域課題及び将来的な地域像

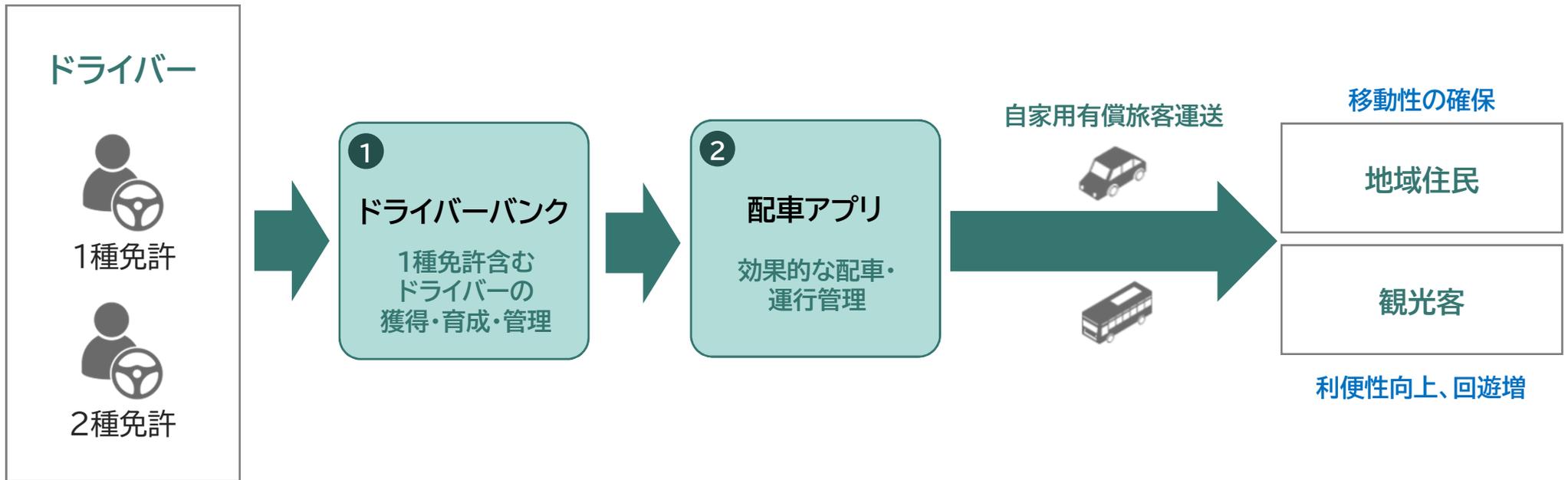
路線バス・タクシーを含むあらゆる交通モードでドライバー不足が喫緊の共通課題。
デジタルをフル活用したドライバー確保と運行の効率化で地域公共交通の復活を実現。



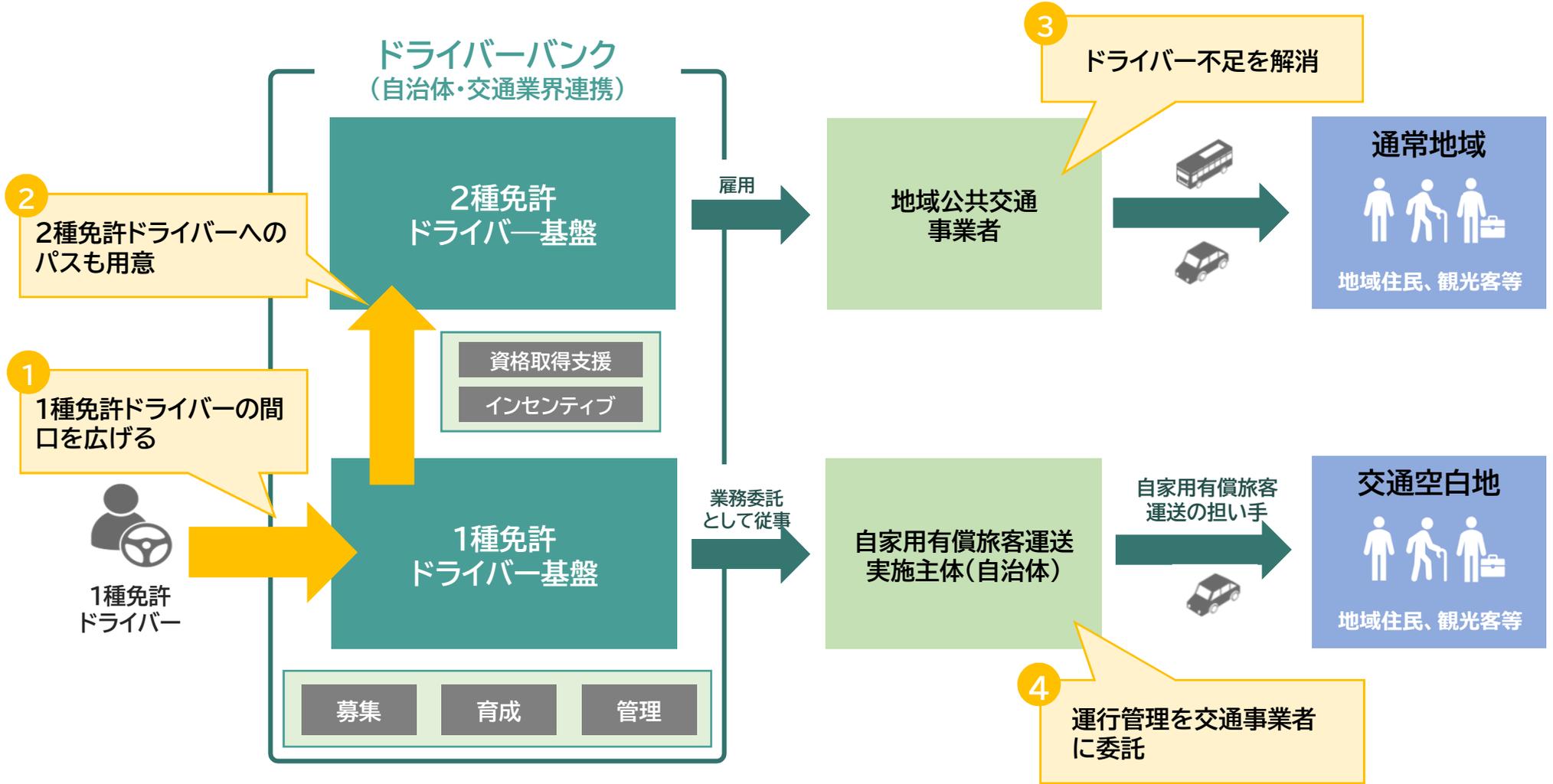
(2) 運送事業サービスの概要

以下2つの運送事業サービスを実現させることで、4自治体における交通課題の解決を目指す。

- ① 1種免許ドライバーを獲得・育成・管理するプラットフォーム「ドライバーバンク」を構築。自家用有償旅客運送の仕組みを使い、公共交通事業者の協力を得て、持続的な公共交通にチャレンジ。
- ② 自治体ごとに独自管理・運行して非効率となっている公共交通に、配車アプリプラットフォームを導入し運行効率を改善。



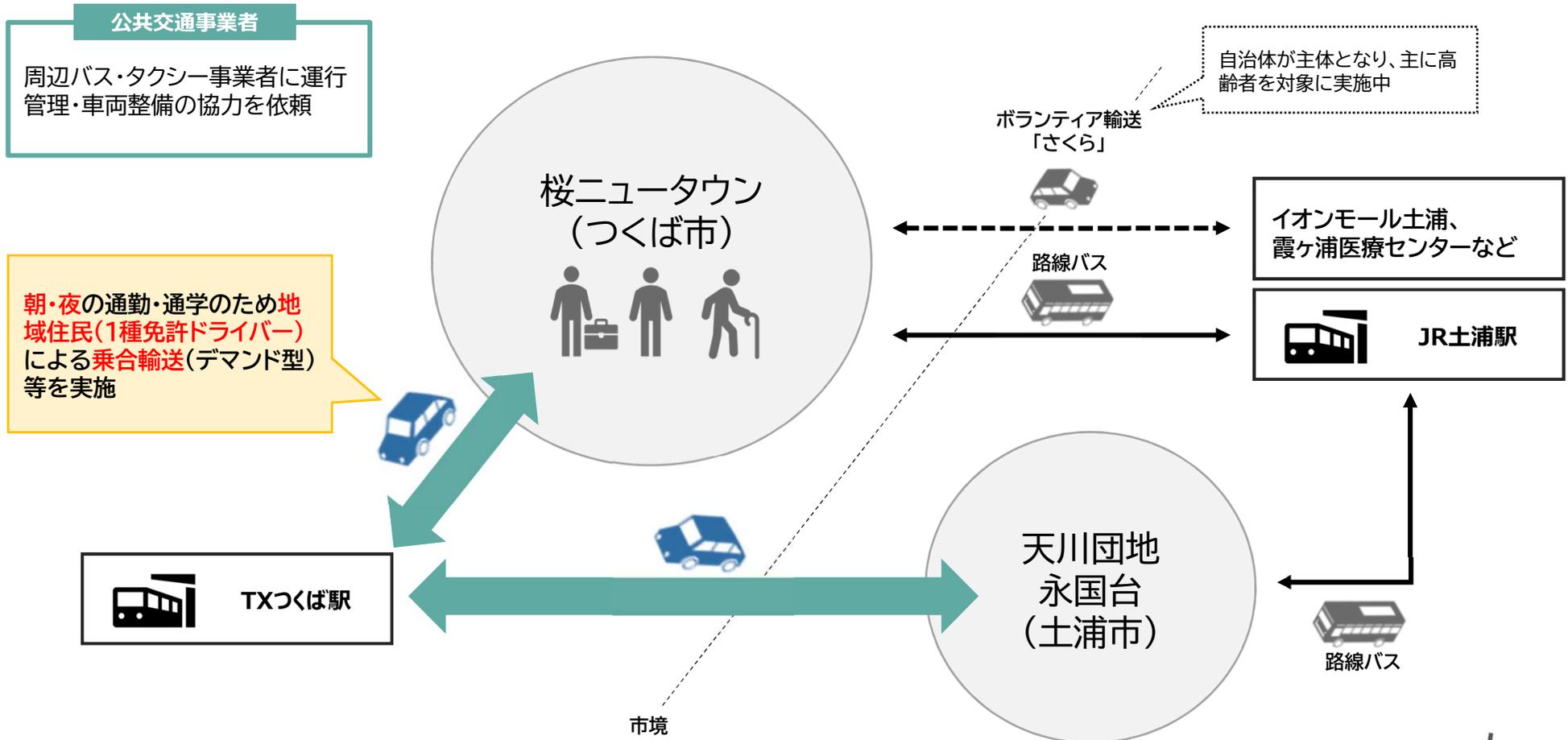
(3) ドライバーバンクの概要



(4) 実証実験①の概要

① 桜ニュータウン/天川団地・永国台～つくばセンター

課題：令和5年1月に路線バス(つくばセンター～桜ニュータウン)が廃線になり、つくば駅間での移動が困難なことから、主に朝・夜の通勤・通学に対応(日中はつくタクが対応)



(5) 実証実験②の概要

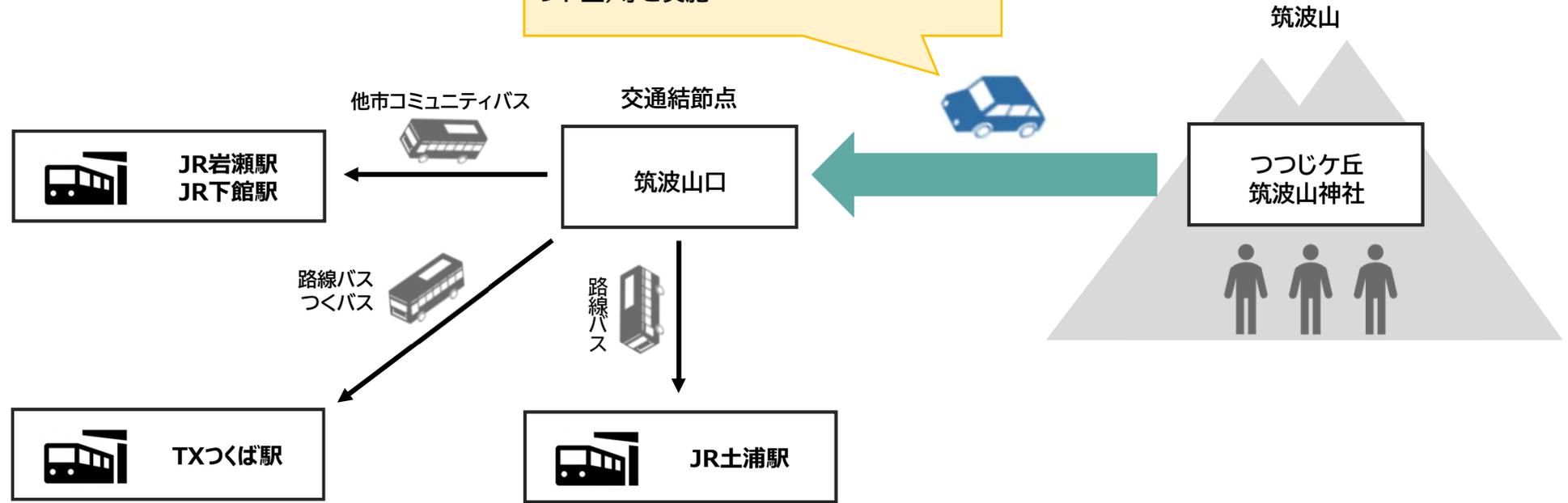
② 筑波山～筑波山口

課題： つくばセンターと筑波山を結ぶ筑波山シャトルバスの最終便(17時頃)運行後の移動手段として対応(筑波山口にて、つくバス北部シャトルや他市コミュニティバス等に接続)

公共交通事業者

周辺バス・タクシー事業者に運行管理・車両整備の協力を依頼

シャトルバス最終便(17時頃)運行後に観光客を筑波山口まで輸送するため、**地域住民(1種免許ドライバー)**による**乗合輸送(デマンド型)**等を実施



(6) 令和6年度事業計画

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ドライバーバンク	企画・構想	サービス設計	展開計画、プライシング検討	活性協審議						事業性検証 KPI測定
	運営				ドライバー向け 広報・研修			自家用有償旅客運送 サービスとの連携開始		
	システム開発	要件定義	システム開発				動作検証			
配車アプリ ・ 実証実験	企画・構想	サービス設計 (DBとの連携)	各自治体の エリア・運行 形態決定							事業性検証
	運営				利用者への周知、 利用方法説明			自家用有償旅客運送 サービスの提供開始		
	システム開発	要件定義	システム開発				動作検証			

ドライバー 募集開始

実証実験 運行開始



(7) 記事掲載実績

媒体名	掲載日	見出し
NEWSつくば	5月29日	自家用車で乗客を有償運送 つくば市が2地区で実証実験 来年1月から
茨城新聞	5月30日	県南西4市 運転人材バンク ～県内初 来年1月に実証実験～
朝日新聞	6月11日	運転手の不足、一般ドライバーが「代行」 つくばなど4市が計画
産経新聞	6月11日	茨城で自家用車による乗客の有償輸送の 実証実験 つくばなど4市が運営主体 来年1月から
毎日新聞	6月21日	交通空白地域に新たな足



松代南循環(実証実験) 条件付き小人運賃無料化措置について

1 概要と審議事項

松代南循環の新たな需要の掘り起こしを目的に、「読書の秋、松代南循環バスで図書館に行こう」と銘打ち、路線沿線の手代木南小学校児童とその保護者がバスに同乗し、かつ、市が配布したチラシを提示した場合に、小人運賃を無料とするキャンペーンを実施する。

なお、割引措置のほか、小人がバスを降車する際に専用のチラシにスタンプを押印させ、達成した小人へノベルティの提供を予定している。

協議路線である松代南循環バスでの条件付き小人運賃無料化について御審議いただくものである。

2 条件付き小人運賃無料化の内容

(1) 実施期間

令和6年(2024年)9月1日から令和6年(2024年)10月31日まで

(2) 無料化する小人運賃

以下の松代南循環運賃表の小人運賃を、次の(3)の要件を満たした場合に無料とする。

● 運賃表 ※運賃割引や定期券については、関東鉄道の規約による

指定停留所		つくばセンター						
区界停留所	指定停留所	松野木東		240		240		
松野木東	宮下児童公園南	松野木西		190		240		
手代木団地	手代木中学校前	松代五丁目東		190		240		
	松代	手代木団地		190		240		
松代五丁目	松代南	松代五丁目		190		270		
		松野木西		190		240		
		松野木東		190		240		
		つくばセンター		240		190		

(3) 小人運賃無料化の条件

- ①つくば市が手代木南小学校を通じて保護者へ電子配布したキャンペーンチラシ(学年組氏名を記名)を印刷し、運賃支払時に提示すること。
- ②無料化実施期間内の利用であること。
- ③小人が、大人運賃の者と同乗していること。
- ④同乗する大人運賃の者1名につき、無料化の対象となる小人運賃の者が2名までであること。

※小人のみの利用は、小人運賃無料化の対象としない。

3 目的

- ① 保護者に松代南循環を実際に利用してもらい、利便性を覚知させ、バス利用の通勤・通学に転換してもらうこと。
- ② 令和5年度実績5.0人/便をキャンペーンにより底上げし、松代南循環バスの事業化目標値(損益分岐点)14人/便を目指す。

4 キャンペーンのターゲット

- ① 松代南循環バス路線(手代木南小学校区)在住の大人
※つくばセンターまで自転車又は自家用車の利用からバスへの転換を図る。
- ② 手代木南小学校児童 370名(16クラス)

5 目標設定

- ① キャンペーン期間中、松代南循環バス1便あたり1.2人の利用者増
- ② キャンペーン完了者数(期間中、5回乗車した児童) 100人

6 キャンペーン内容(案)

(1) 大人と同乗する小人運賃の無料化

大人と同乗する小人が、キャンペーンチラシを提示することで松代南循環バスの運賃を無料とする。小人運賃を無料化する条件は前述2(1)～(3)のとおり。

(2) チラシにバス&図書館でスタンプ押印

- ① バス降車時に、キャンペーンチラシにバス乗務員が日付スタンプ押印
- ② つくば中央図書館へ来館の際、バスの日付スタンプと同日の場合に図書館でもスタンプ押印
- ③ スタンプは1日につきバス・図書館それぞれ1個ずつとする。

(3) 応募者全員プレゼント

バススタンプと図書館スタンプを全て埋めた児童に、WEB申込により記念品「つくバスBOX ティッシュカバーパークラフト(組立前A3サイズ)」をプレゼント

7 参考

これまでの松代南循環の利用促進施策

- ① 令和4年(2022年)10月 運行開始に伴い路線図・時刻表等を区会回覧
- ② 令和6年(2024年)1月 路線図・時刻表等を松代・手代木地区へ全戸配布
- ③ 令和6年(2024年)9月～10月(予定) 「読書の秋、松代南循環バスで図書館に行こう」キャンペーン

令和5年度利用実績

(つくバス、つくタク、つくばね号、各種実証実験)と
令和6年度利用実績(つくバス速報値)について

令和6年(2024年)7月4日(木)

総合交通政策課

令和5年度 つくバス利用実績

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

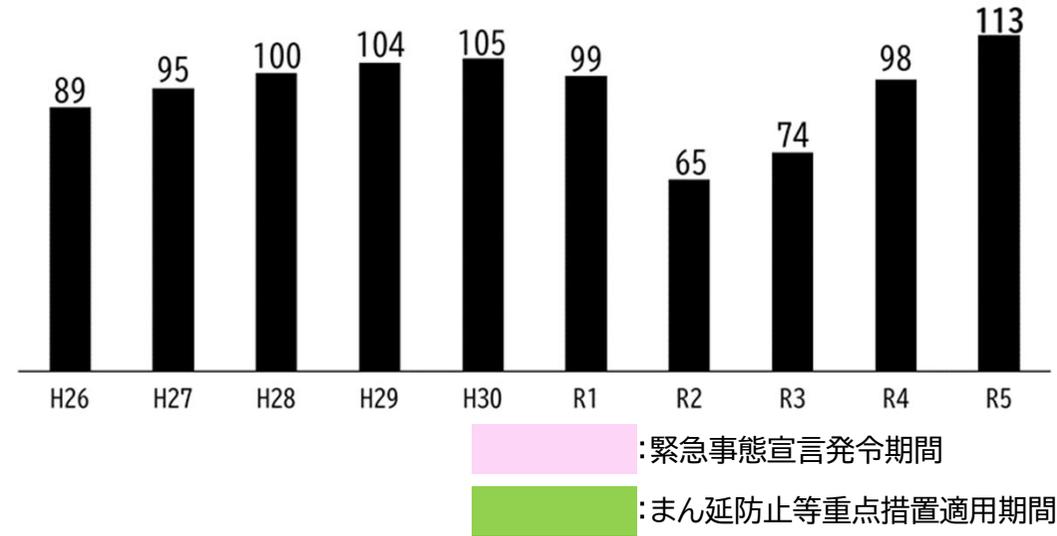


令和5年度つくバス利用者数

- 令和5年度の利用者数は1,132,827人で、1日当たり約3,095人の利用があった。これは「つくバス」のシャトル型運行を開始した平成23年度以来、過去最高の記録である。
- 過去最高の利用者数になった要因として、主に次の2点が考えられる。
 - ①新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが令和5年5月に5類に引き下げられたこと
 - ②令和4年4月からつくバスが10路線となり、輸送力が增強されたこと
- 年度別利用者数は前年度と比較して、151,041人増加が見られた。

▼年度別利用者数

[万人]



▼年度別・月別利用者数一覧

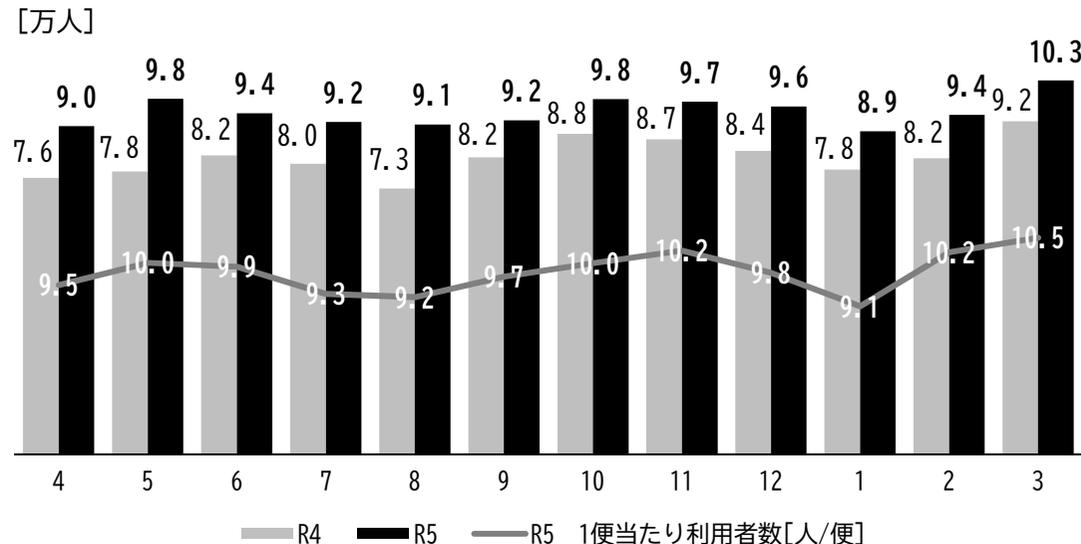
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		前年同月比[%]
	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	利用者数[人]	前年比増減[人]	
4月	72,833	78,099	82,774	85,331	87,370	84,745	30,895	63,623	76,165	90,368	14,203	142.0
5月	74,767	77,797	83,169	87,916	91,341	85,965	27,962	60,687	77,953	97,881	19,928	161.3
6月	74,837	83,722	87,943	90,000	93,173	87,038	57,221	66,411	82,355	93,930	11,575	141.4
7月	75,830	83,208	83,622	86,868	89,786	88,435	63,678	64,633	80,034	91,541	11,507	141.6
8月	71,800	77,103	76,183	84,187	85,996	82,431	52,944	48,332	73,206	90,875	17,669	188.0
9月	72,685	77,768	81,939	85,853	84,158	81,979	60,832	48,265	81,781	92,010	43,745	190.6
10月	77,412	83,433	87,768	90,218	93,105	87,840	67,934	65,508	88,255	97,794	32,286	149.3
11月	74,872	79,271	88,107	88,780	91,603	87,441	62,342	67,750	86,745	97,110	29,360	143.3
12月	75,254	80,066	84,288	88,797	88,491	86,234	59,809	69,076	83,575	95,840	26,764	138.7
1月	71,805	73,812	78,349	81,494	79,391	80,219	49,773	62,317	78,405	89,020	26,703	142.9
2月	69,833	76,588	82,737	79,119	80,961	77,455	49,509	53,306	81,572	93,520	40,214	175.4
3月	76,104	82,970	87,783	88,984	87,613	64,420	63,137	68,210	91,740	102,938	34,728	150.9
年間	888,032	953,837	1,004,662	1,037,547	1,052,988	994,202	646,036	738,118	981,786	1,132,827	151,041	115.4
月平均	74,003	79,486	83,722	86,462	87,749	82,850	53,836	61,510	81,816	94,402	12,587	
日平均	2,433	2,606	2,752	2,843	2,885	2,716	1,765	2,022	2,690	3,095	405	2

つくバス利用者数(前年度比較)

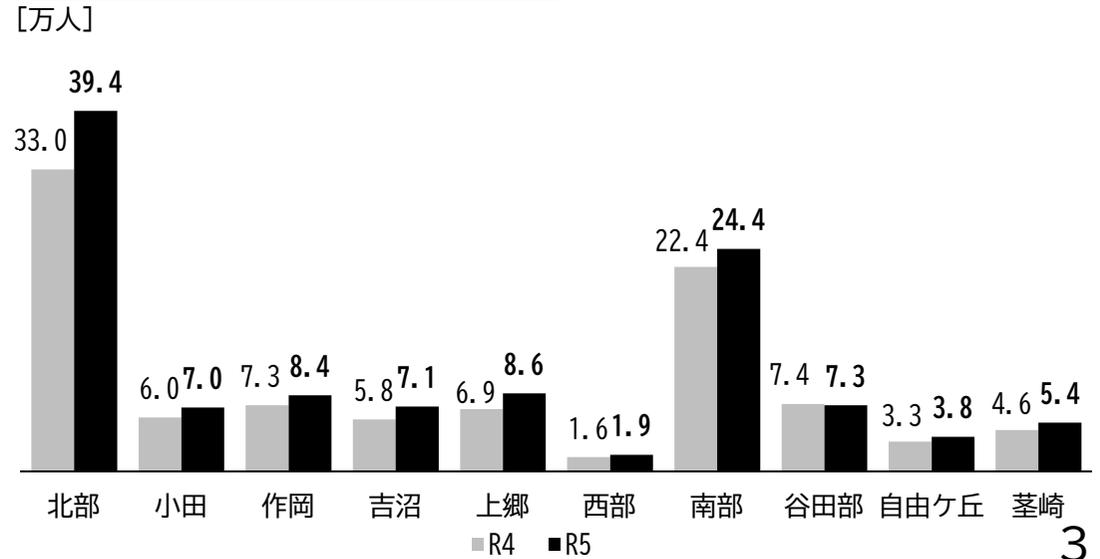
- 前年度と比較し、延べ利用者数は151,041人増加した(前年度比約15%増)。谷田部シャトルを除く、9つの路線において、前年度より利用者数が増加した。
- 月別利用者数は全ての月で大幅に増加した。
- 路線別で見ると、北部シャトルの利用者数が1番多く見られた(前年度比約19%増)。一方、利用者数の増加率で見ると、上郷シャトルが1番多いという結果になった(前年度比約25%増)。

▼路線別利用者数一覧 (前年度比較)	北部	小田	作岡	吉沼	上郷	西部	南部	谷田部	自由ヶ丘	茎崎	10路線合計 1日あたり
R4 年度利用者数[人]	330,101	59,549	72,654	57,527	68,535	16,235	223,978	74,324	33,113	45,770	981,786
R5 年度利用者数[人]	394,089	70,381	83,561	71,314	85,962	18,884	243,646	72,670	38,381	53,939	1,132,827
比較 増減数(R5-R4)	63,988	10,832	10,907	13,787	17,427	2,649	19,668	▲ 1,654	5,268	8,169	151,041
比較 増減率(R5/R4)	119%	118%	115%	124%	125%	116%	109%	98%	116%	118%	115%
R4 1便当たりの利用者数[人]	15.9	5.4	5.9	7.2	7.8	2.2	10.6	6.8	4.5	5.7	8.5
R5 1便当たりの利用者数[人]	18.9	6.4	6.7	8.9	9.8	2.6	11.5	6.6	5.2	6.7	9.8

▼月別利用者数(前年度比較)



▼路線別利用者数(前年度比較)



つくバスシャトル別利用状況(北部)

[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 北部シャトルは、394,089人の利用があり、前年度と比較して63,988人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(378,555人)の水準を上回った。
- 時間帯で見ると、朝の上り便と夜の下り便の利用が多いことから、通勤通学で利用する人が多いと推測できる。また、上り便・下り便ともに昼の利用も多いことから、買い物や観光の外出にも利用されていると考えられる。

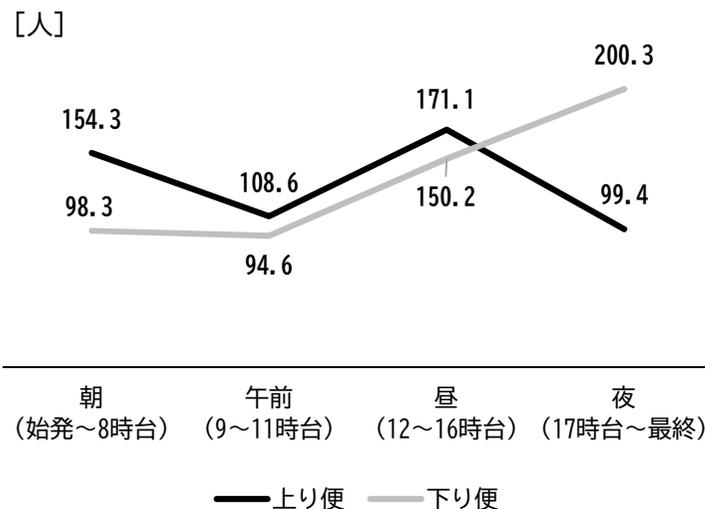
[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、例年利用者が多い、つくばセンターや花畑、大穂窓口センターで利用者数の増加が見られた。
- ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	904.4	15.9
R5	1076.7	18.9
増減数(R5-R4)	172.4	3.0
増減率(R5/R4)	19.1%	19.1%

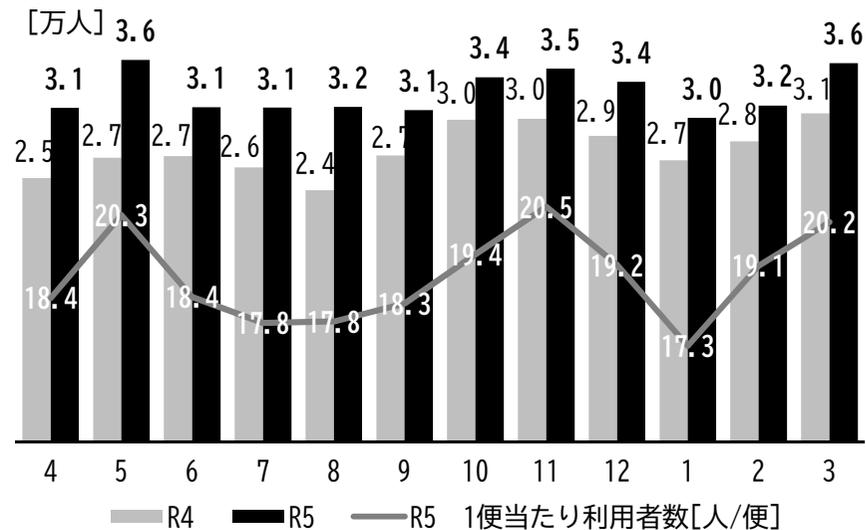
▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5 (人)	R4 (人)
つくばセンター	472.0	389.1
妻木	15.0	12.6
天久保	38.3	25.8
テクノパーク桜入口	76.2	53.0
花畑	125.3	106.2
大穂窓口センター	141.2	129.7
高エネルギー研	67.0	53.3
ウェルネスパーク	21.2	23.9
山木	1.5	0.6
田中東	5.3	5.3
筑波交流センター	53.2	49.6
杉木	1.4	1.5
大貫	1.8	3.3
沼田南	10.2	-
筑波山口	47.1	50.6

▼月別利用者数



つくバスシャトル別利用状況(小田)

[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 小田シャトルは、70,381人の利用があり、前年度と比較して10,832人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(73,448人)と比べると、約96%まで回復した。
- 時間帯別で見ると、朝の上り便と夜の下り便の利用者が多いことから、通勤通学で利用する人が多いと推測される。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、つくばセンターやテクノパーク桜で利用者の増加が見られた。
- 一部停留所で利用者の減少がみられたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

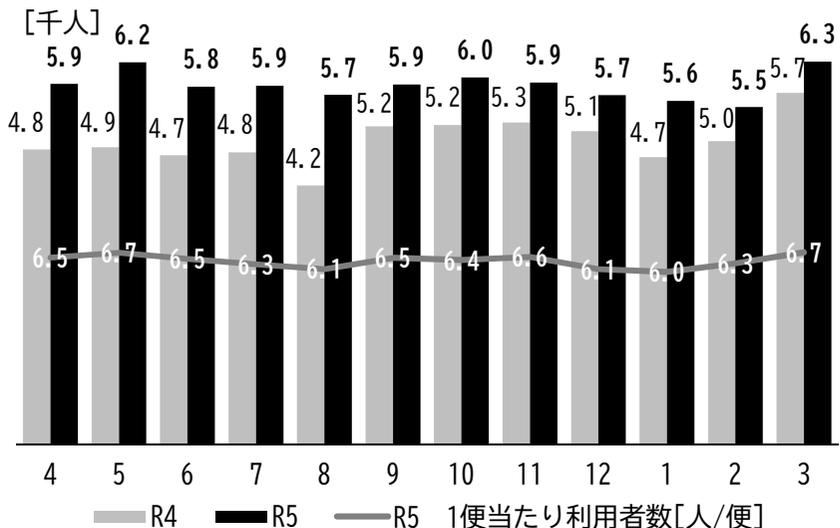
▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
つくばセンター	81.5	67.5
花園	4.0	4.0
桜窓口センター入口	5.4	3.7
桜窓口センター	2.2	1.7
金田西	1.8	1.2
金田東	9.9	8.1
横町	1.1	0.8
松塚入口	0.7	0.6
松栄団地	4.1	2.9
栄	8.8	7.5
八竜神	4.6	3.2
上境	2.8	2.9
さくらの森	9.9	6.8
テクノパーク桜	19.2	16.2
春風台	5.4	3.8
栗原	0.8	0.7
つくば特別支援学校	4.8	5.2
栗原東	0.8	0.6
田土部	0.9	-
下大島	1.0	0.4
大形	0.6	0.6
北太田	0.1	0.1
大穂窓口センター	2.8	3.2
小田東部	5.0	5.2
小田中部	3.8	4.9
北条新田	0.5	0.7
大池東	0.5	-
大池・平沢官衙入口	2.6	3.7
北条仲町	2.3	2.4
北条三差路	0.6	0.3
筑波交流センター	4.0	4.5

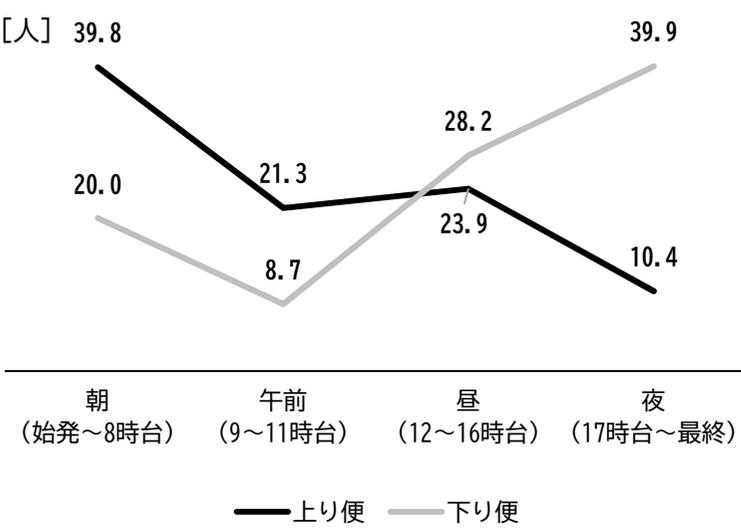
▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	163.1	5.4
R5	192.3	6.4
増減数(R5-R4)	29.1	1.0
増減率(R5/R4)	17.9%	17.9%

▼月別利用者数



▼時間帯別利用者数



つくバスシャトル別利用状況(作岡)

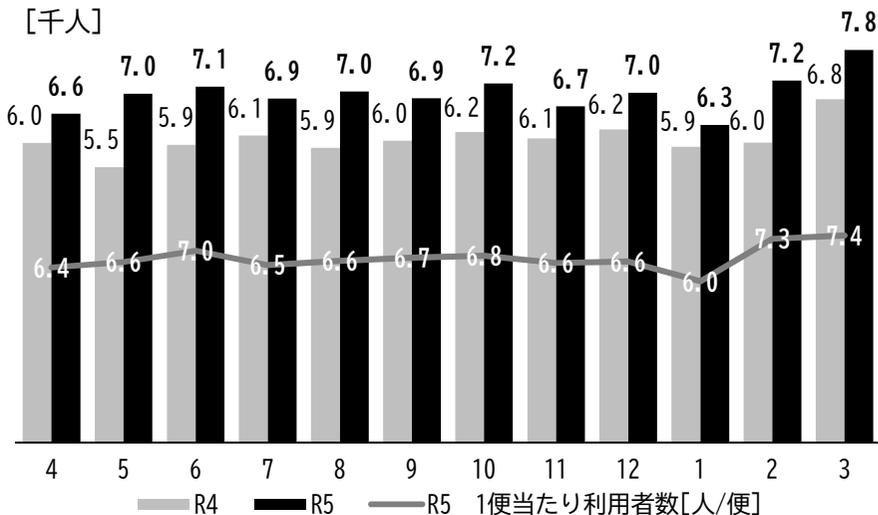
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 作岡シャトルは、83,561人の利用があり、前年度と比較して10,907人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(74,258人)の水準を上回った。
- 時間帯別で見ると、上り便・下り便ともに朝と夜の利用が多いことから、通勤通学に利用する人が多いと推測される。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、研究学園駅や豊里の杜で利用者数の増加が見られた。
- 東光台5丁目は利用者の減少が見られるが、重複する上郷シャトルでは増加が見られた。
- 一部停留所で利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

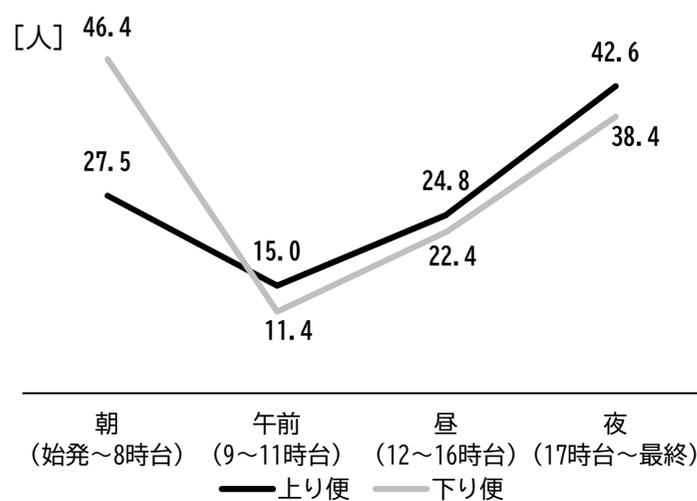
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	199.1	5.9
R5	228.3	6.7
増減数(R5-R4)	29.3	0.9
増減率(R5/R4)	14.7%	14.7%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
研究学園駅	100.1	87.2
つくば市役所	1.8	1.5
つくば市役所北	3.8	3.3
研究学園西	2.6	2.4
東光台五丁目	15.3	16.0
東光台体育館	8.7	7.5
東光台三丁目	7.6	6.5
東光台二丁目	6.6	6.2
東光台入口	4.2	3.1
酒丸	1.8	1.4
豊里の杜	23.8	21.8
高野	1.0	0.7
皆畑	4.4	2.0
今鹿島小学校入口	3.5	2.3
今鹿島北	0.8	0.4
長高野西	1.6	1.7
大砂ニュータウン	3.7	3.6
テクノパーク大穂	9.0	7.7
北部工業団地中央	15.8	11.4
北部工業団地和台公園	3.5	3.6
明石	2.8	2.2
作谷	1.1	1.9
寺具	4.9	4.7

上郷シャトルと重複

つくバスシャトル別利用状況(吉沼)

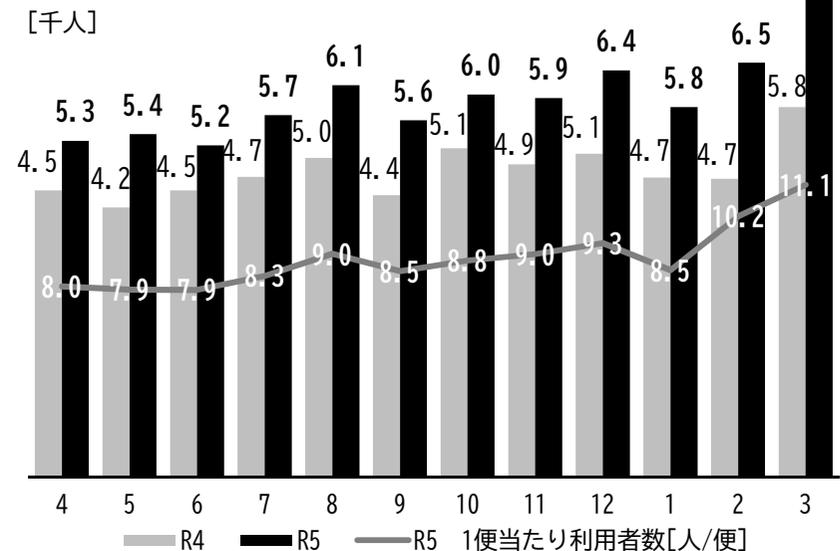
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 吉沼シャトルは、71,314人の利用があり、前年度と比較して13,787人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(59,701人)の水準を大幅に上回り、11,640人の増加がみられた。
- 時間帯別で見ると、上り便・下り便ともに朝と夜の利用が比較的に多いことから、通勤通学で利用する人が多いと推測される。また上り便は日中の時間帯も利用人数が比較的に多いことから、生活路線としても機能していると考えられる。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、研究学園駅や大穂窓口センターで、利用者の増加が見られた。
- 一部停留所で利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

▼月別利用者数

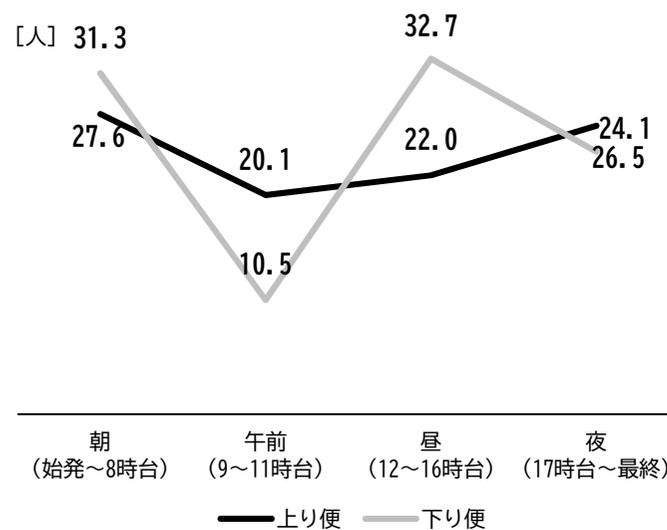


▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	157.6	7.2
R5	194.8	8.9
増減数(R5-R4)	37.2	1.7
増減率(R5/R4)	23.6%	23.6%

[人]

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

研究学園駅	67.6	59.2
つくば市役所	2.7	2.3
つくば市役所北	2.0	1.2
研究学園3丁目	3.7	3.6
学園の森1丁目	7.0	4.8
学園の森2丁目	7.1	5.8
学園の森2丁目北	3.4	2.8
学園の森3丁目北	6.8	2.7
国土地理院・つくば警察署	6.9	6.5
筑波記念病院	9.7	7.8
土木研究所	12.4	10.1
教職員支援機構	10.0	9.1
大穂窓口センター	32.4	24.9
篠崎	2.8	2.7
前野小学校入口	1.0	1.0
長高野	0.6	0.5
大砂・今鹿島入口	2.0	2.1
大砂	1.6	1.3
西高野	1.3	1.6
吉沼	5.8	4.7
吉沼四ツ角	1.8	1.4
吉沼南	1.3	0.5
とよさと病院	4.8	1.2

[人]

つくバスシャトル別利用状況(上郷)

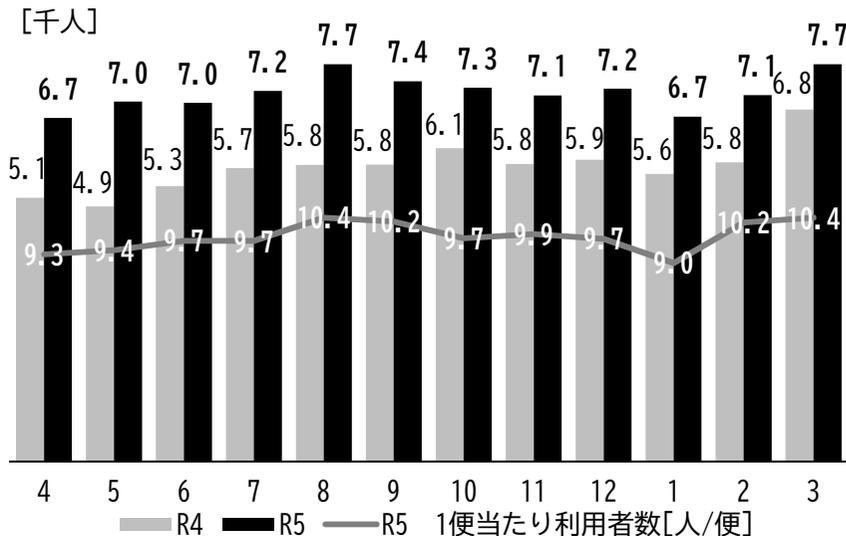
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 上郷シャトルは、85,962人の利用があり、前年度と比較して17,427人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(55,401人)の水準を大幅に上回り、30,561人増加した。令和4年4月から開始した朝夜便の増便で通勤通学利用の需要を引き続き確保できたことによるものと考えられる。
- 時間帯別で見ると、朝と夜の利用が多いことから通勤通学で利用する人が多いと推測される。また、日中(午前と昼)の上り便の利用人数が多いことから、生活路線としても機能していると考えられる。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、つくばセンター、研究学園駅及び豊里の杜で利用者の増加が見られた。
- 研究学園西で利用者の減少が見られたが、それ以外の停留所で前年度の利用者数を上回った。

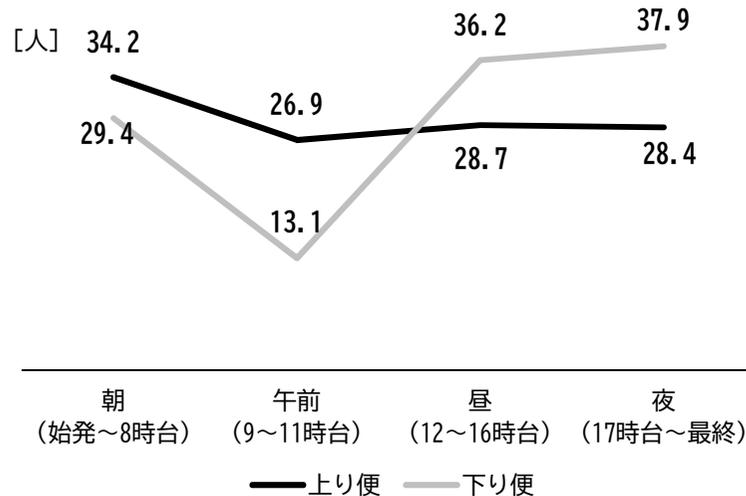
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	187.8	7.8
R5	234.9	9.8
増減数(R5-R4)	47.1	2.0
増減率(R5/R4)	25.1%	25.1%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5 (千人)	R4 (千人)
つくばセンター	52.7	42.3
春日二丁目	17.6	13.9
研究学園7丁目	5.7	2.9
研究学園6丁目	2.2	1.5
研究学園駅入口	14.8	11.4
研究学園駅	48.2	38.5
つくば市役所	4.1	3.9
つくば市役所北	3.1	2.1
研究学園西	2.2	2.6
東光台五丁目	10.1	8.5
東光台体育館	7.0	5.0
東光台三丁目	8.0	6.1
東光台二丁目	4.8	3.2
東光台入口	2.6	1.5
酒丸	1.2	1.1
豊里の杜	21.2	19.6
豊里中学校	1.4	1.2
手子生	1.8	1.5
テクノパーク豊里中央	9.2	7.5
テクノパーク豊里西	3.6	3.3
上郷郵便局	5.8	4.1
上郷	1.9	1.9
上郷上宿	1.3	0.7
田倉東	1.2	0.8
とよさと病院	3.1	2.7

作岡シャトルと重複

つくバスシャトル別利用状況(西部)

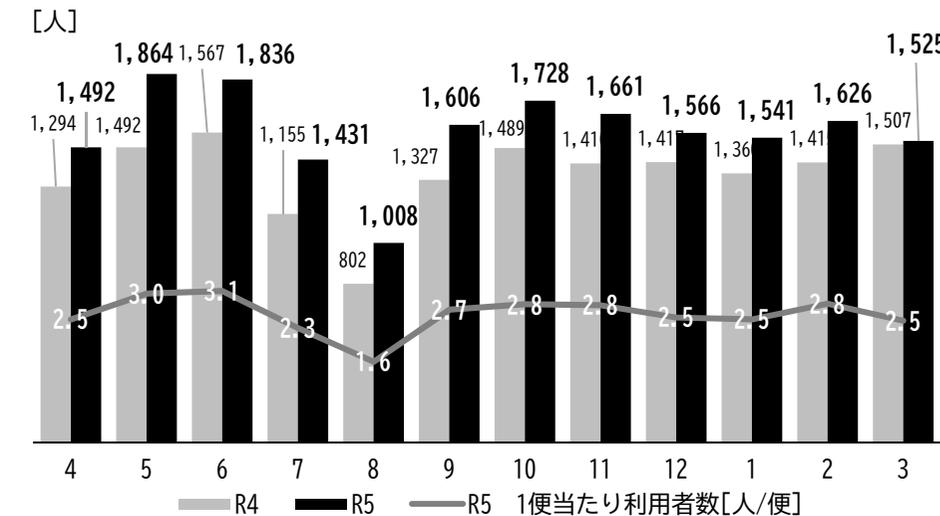
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 西部シャトルは、18,884人の利用があり、前年度と比較して2,649人増加した。島名小学校・真瀬小学校の通学需要を安定的に確保できたことによるものと考えられる。
- 時間帯別で見ると、朝の上り便と昼の下り便の時間が多いことから、主に小学生の通学利用と推測できる。

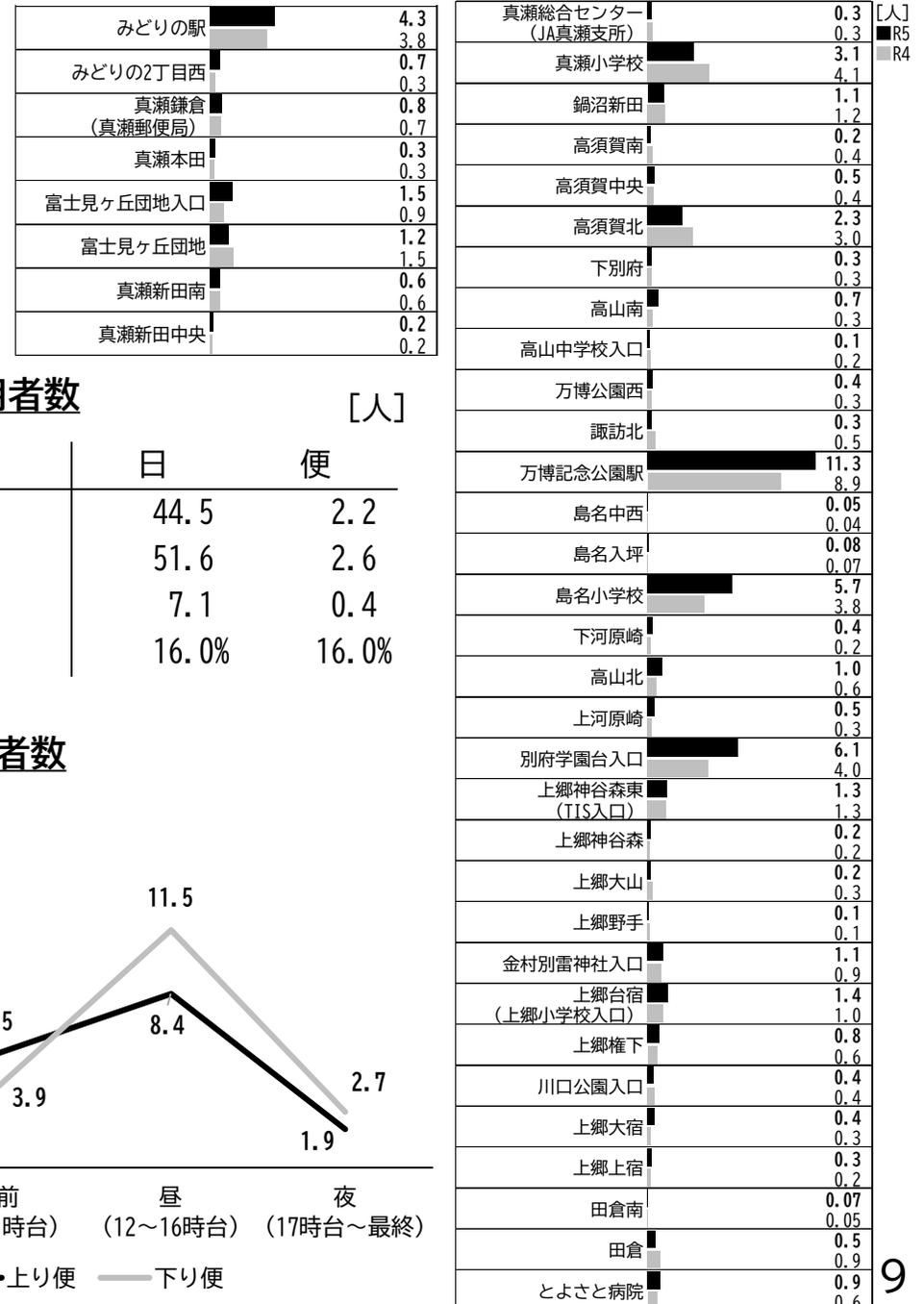
[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、TX2駅と各小学校学区の住宅地や学校周辺で増加が見られた。
- 真瀬小学校はバス利用者の減少に伴い、利用者数が減少している。
- 一部停留所に利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

▼月別利用者数



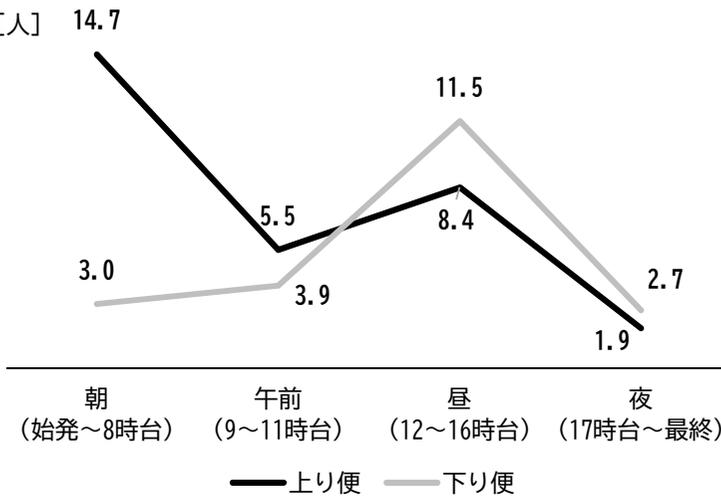
▼停留所別利用者数(1日当たり)



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	44.5	2.2
R5	51.6	2.6
増減数(R5-R4)	7.1	0.4
増減率(R5/R4)	16.0%	16.0%

▼時間帯別利用者数



つくバスシャトル別利用状況(南部)

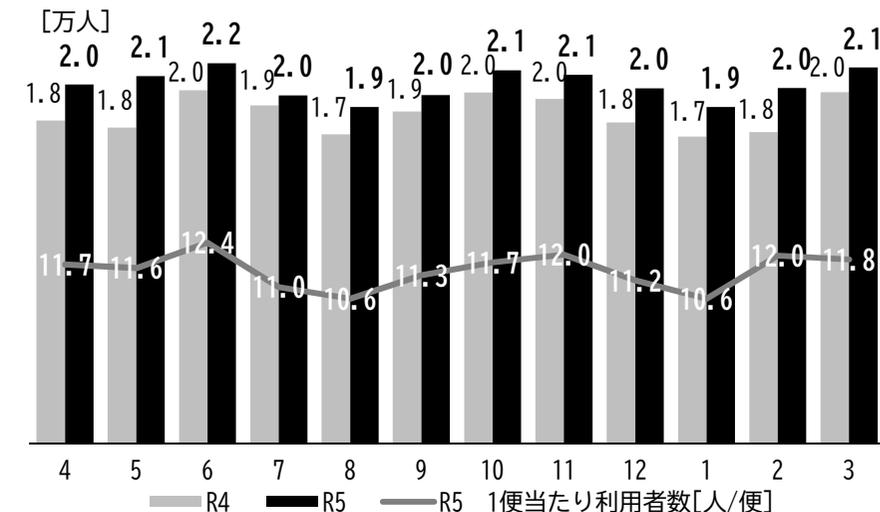
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 南部シャトルは、243,646人の利用があり、前年度と比較して19,668人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(234,406人)の水準を上回った。
- 時間帯別で見ると、前年度と同様に他のシャトルと比較して朝の利用者数が上り便より下り便が多い。また、夜は上り便下り便ともに利用者が多いことから、つくばセンター(TXつくば駅)を起点とした通勤通学の利用が多いと推測される。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、つくばセンターや農林団地中央で増加が見られた。
- このほか、荃崎第一小学校学区(特に牧園中央)の利用者も前年度より多く見られた。
- 一部の停留所で利用者の減少は見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

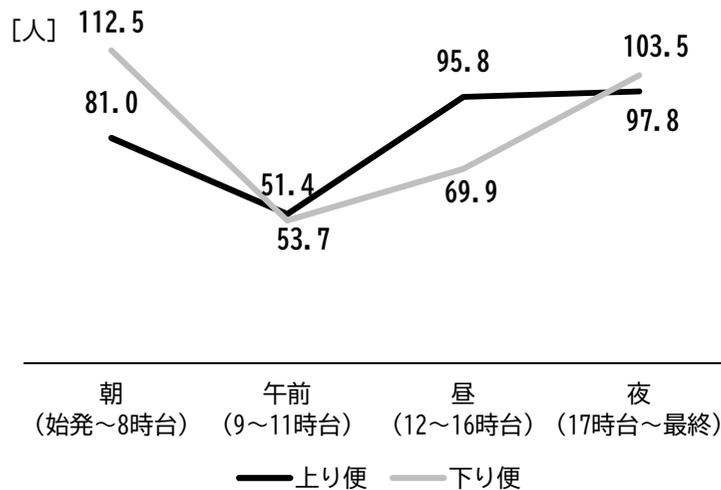
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数 [人]

	日	便
R4	613.6	10.6
R5	665.7	11.5
増減数(R5-R4)	52.1	0.9
増減率(R5/R4)	8.5%	8.5%

▼時間帯別利用者数 [人]



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
つくばセンター	247.8	230.5
小池	10.3	14.0
松代一丁目	34.3	30.4
松代	21.7	18.2
果樹研究所入口	11.4	7.7
榎戸	4.7	4.6
谷田部車庫	49.1	45.8
農林団地中央	74.0	68.1
農業環境技術研究所	8.7	3.4
高野台	7.9	7.3
高野台中央	11.6	10.5
理化学研究所	39.9	50.2
牧園中央	33.5	29.7
菅間	5.9	6.2
高崎中央	18.3	14.8
高見原団地入口	8.3	7.5
高見原中央	12.6	10.5
高見原南	10.6	10.0
新山	15.9	11.7
田宮町	13.3	10.3
弁天前	5.4	4.0
荃崎窓口センター	12.5	10.4
森の里団地入口	3.9	3.6
荃崎運動公園	1.7	2.0
下岩崎	1.2	0.9
荃崎老人福祉センター	1.0	0.9

つくバスシャトル別利用状況(谷田部)

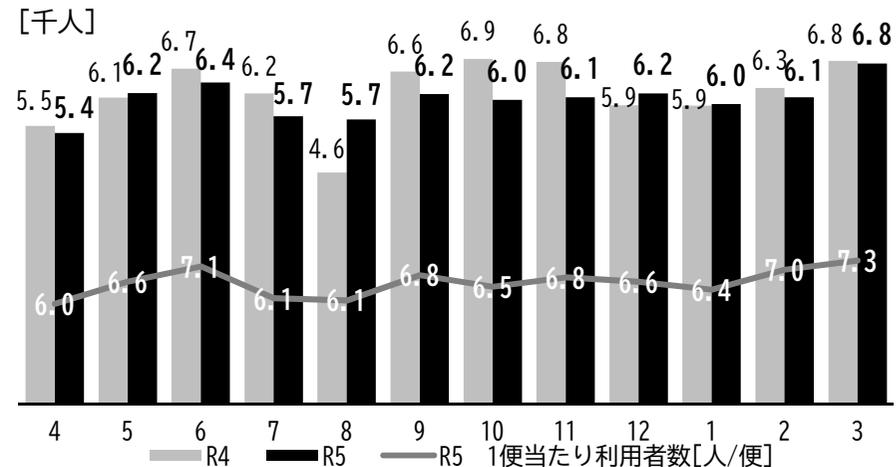
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 谷田部シャトルは、72,670人の利用があり、前年度と比較して1,654人減少した。前年度利用者数はコロナ以前より増加しコロナの影響を脱したが、再び減少に転じた。減少の要因としては、令和5年4月の香取台小学校開校に伴う島名小学校通学利用者(島名十字路北が最寄り)の減少と推測される。
- 時間帯別で見ると、上り便・下り便ともにどの時間帯も利用者数にほとんど差が見られない。買い物等の生活路線としての側面と、通勤通学の側面どちらも兼ねていると推測される。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、研究学園駅、みどりの駅及び飯田で利用者の増加が見られた。
- 一部停留所で利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

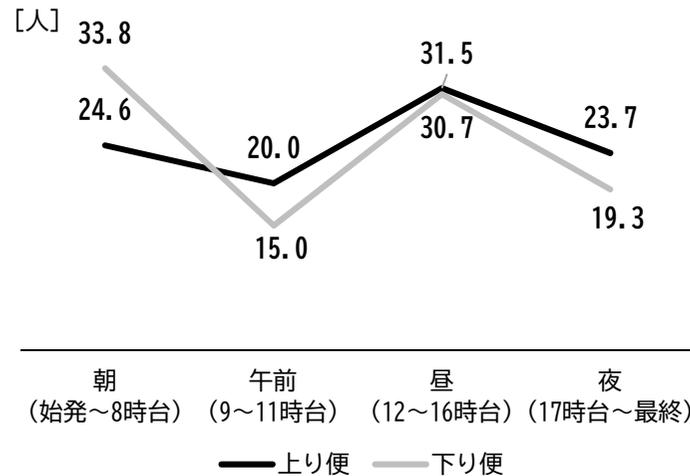
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	203.6	6.8
R5	198.6	6.6
増減数(R5-R4)	▲ 5.1	▲ 0.2
増減率(R5/R4)	-2.5%	-2.5%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	利用者数	前年度
研究学園駅	20.8	18.1
つくば市役所	2.6	2.3
研究学園駅前公園	2.7	1.7
大境	4.2	3.6
山中学園台入口	3.2	2.9
科学万博記念公園	8.7	7.4
つくば秀英高校	7.1	6.8
鬼ヶ窪南	3.8	-
島名十字路北	3.4	23.8
香取台	1.1	1.0
ピアシティ前	1.9	1.7
万博記念公園駅	17.4	34.9
みずほ団地入口	9.8	7.5
陣場ふれあい公園	9.5	7.2
みどりの2丁目	3.8	3.5
みどりの駅	46.5	35.7
みどりの駅入口	4.1	4.1
鹿島アントラーズFCつくば アカデミーセンター前	0.9	0.6
みどりの中央	1.3	1.4
みどりの中央南	1.5	1.5
飯田	10.2	7.5
みどりの東	8.0	6.3
谷田部南小学校	2.6	3.1
緑が丘団地入口	8.1	7.2
北境田	1.4	2.1
つくばサイエンス高校 (つくば工科高校)	7.7	5.6
谷田部四ツ角	2.3	1.8
谷田部窓口センター	5.9	4.3

つくバスシャトル別利用状況(自由ヶ丘)

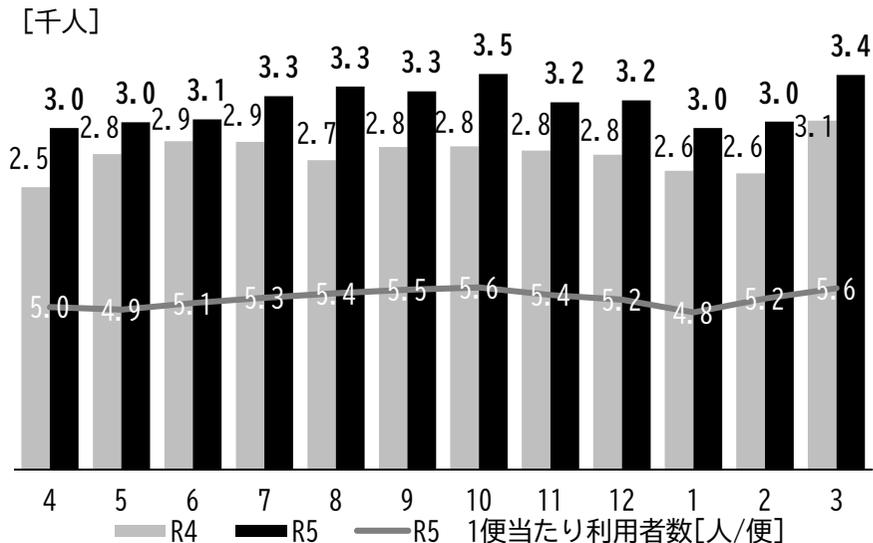
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 自由ヶ丘シャトルは、38,381人の利用があり、前年度と比較して5,268人増加した。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(36,172人)の水準を上回った。
- 時間帯別で見ると、上り便・下り便ともにどの時間帯も利用者数にほとんど差が見られない。買い物や通院などの生活路線としての側面と、通勤通学の側面どちらも兼ねていると推測される。

[停留所別利用者数]

- 停留所別の利用者数では、みどりの駅、農林団地中央及び谷田部車庫で、利用者数の増加が見られた。
- 一部停留所で利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

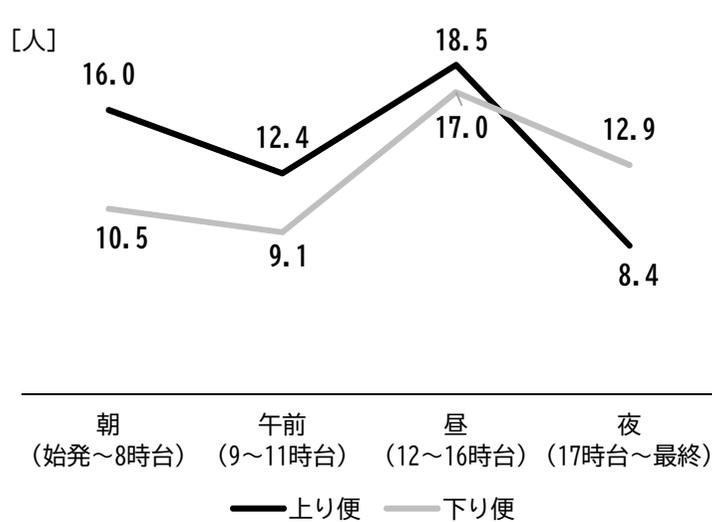
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	90.7	4.5
R5	104.9	5.2
増減数(R5-R4)	14.1	0.7
増減率(R5/R4)	15.6%	15.6%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
みどりの駅	38.5	32.8
谷田部窓口センター	4.2	3.5
谷田部老人福祉センター	2.5	2.4
上横場交差点東	4.8	3.8
谷田部車庫	10.8	9.0
農林団地中央	11.4	10.5
羽成公園	3.2	3.0
観音台一丁目	6.2	4.4
緑ヶ丘団地	5.2	4.6
駒込	0.5	0.3
梅ヶ丘団地	4.0	3.6
上岩崎	1.1	1.0
荃崎運動公園	2.7	2.5
森の里団地入口	1.1	0.9
荃崎窓口センター	1.0	0.8
下岩崎	0.7	0.8
自由ヶ丘団地	3.2	2.7
自由ヶ丘団地中央	0.7	0.7
あしび野	1.6	1.7
細見入口	0.8	0.8
富士見台入口	0.2	0.2
富士見台	0.6	0.7

つくバスシャトル別利用状況(荇崎)

[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- ・ 荇崎シャトルは、53,939人の利用があり、前年度と比較して8,169人増加した。
- ・ 時間帯別で見ると、朝の上り便と昼の下り便の利用が多いことから通学利用が多いと推測される。また、上り便の午前利用も比較的多いことから、生活路線としても機能していると考えられる。

[停留所別利用者数]

- ・ 停留所別の利用者数では、荇崎第二小学校学区の住宅街(城山団地、高見原団地)停留所で、前年度比2,031人増加が見られた。
- ・ そのほか、牛久駅西口、あしび野公園及び荇崎窓口センターでの利用が多く見られた。
- ・ 一部停留所で利用者の減少が見られたが、ほとんどの停留所で前年度の利用者数を上回った。

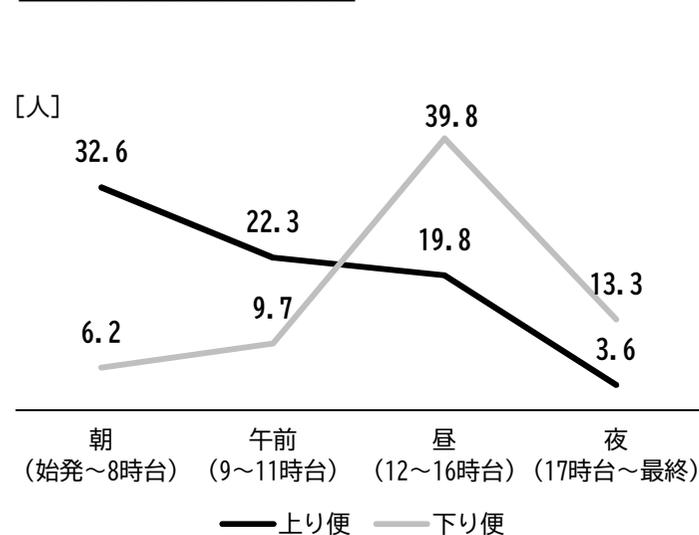
▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
牛久駅西口	54.5	46.2
新山	6.9	6.1
高見原南	2.7	1.9
高見原中央	3.4	2.5
高見原団地入口	6.0	5.3
高崎南	1.0	1.1
城山団地中央	10.4	8.1
城山団地南	3.7	3.2
弁天前	1.3	1.1
荇崎窓口センター	4.9	3.9
森の里団地入口	4.5	3.4
荇崎運動公園	2.4	1.8
下岩崎	1.3	1.3
荇崎第二小学校	8.4	6.6
荇崎みなみ郵便局	1.2	1.1
上岩崎入口	0.5	0.5
大舟戸原	0.3	0.2
レイクサイドつくば入口	0.9	0.8
自由ヶ丘団地	12.0	11.7
自由ヶ丘団地中央	4.9	3.3
あしび野	3.7	3.6
あしび野公園	5.1	4.6
細見入口	2.9	2.7
富士見台入口	1.2	0.9
富士見台	3.3	3.8

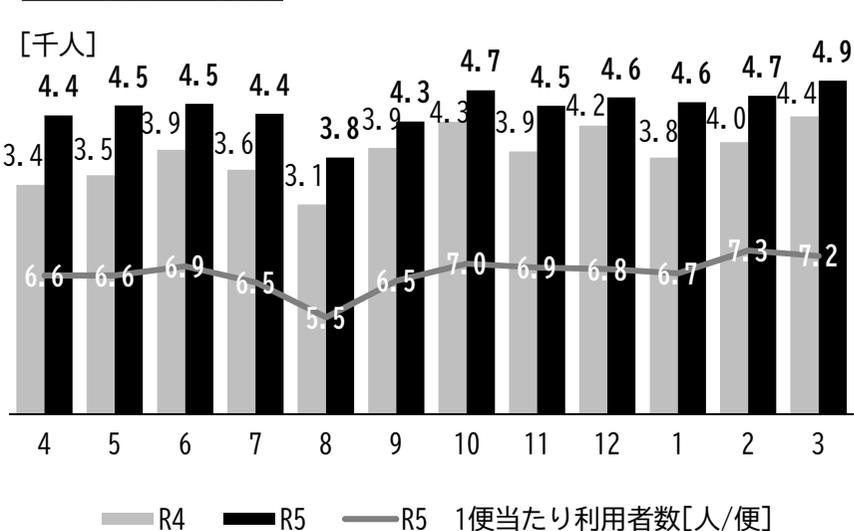
▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	125.4	5.7
R5	147.4	6.7
増減数(R5-R4)	22.0	1.0
増減率(R5/R4)	17.5%	17.5%

▼時間帯別利用者数



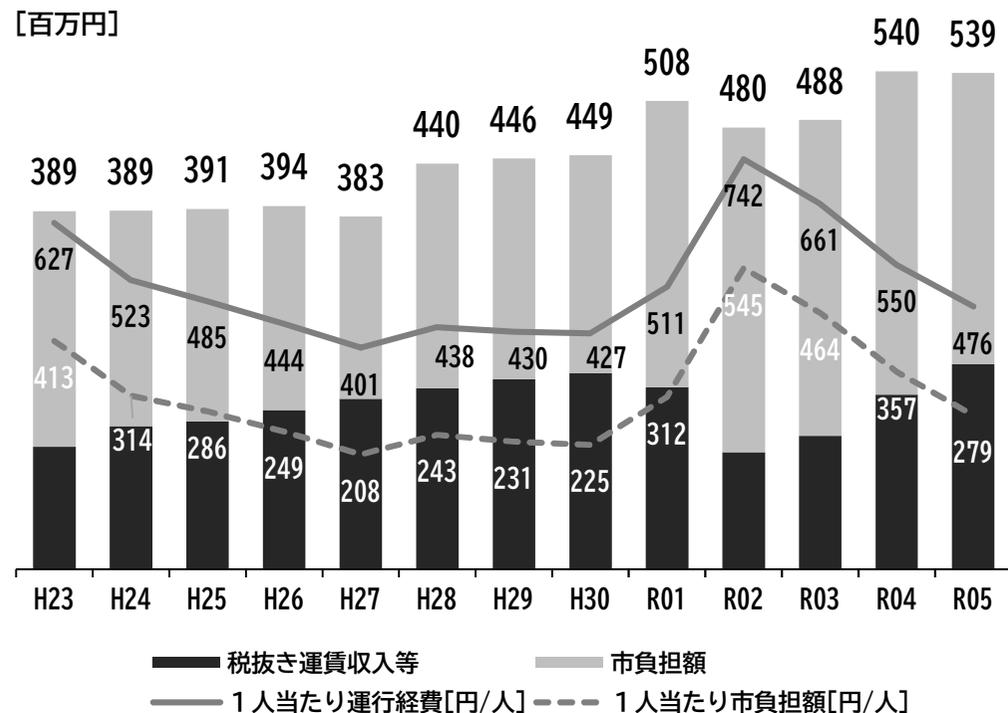
▼月別利用者数



つくバス全体収支

- 運行経費について、令和3年度に車両8台分、令和5年度に車両1台分、それぞれ購入を行った。その負担額(約58,790千円)が運行経費に含まれている。
- 令和5年度の運行経費は、前年度と比較して1,534千円減額した。これは車両の減価償却費減額に伴うものである。
- 令和5年度の税抜き運賃収入等について、利用者数の増加により、約33,412千円増加した。
- 1人当たりの運行経費及び市負担額は年々減額傾向にある。
- 収支率については、41.4%となり、前年度に比べて6.3%増加した。

▼年度別収支推移



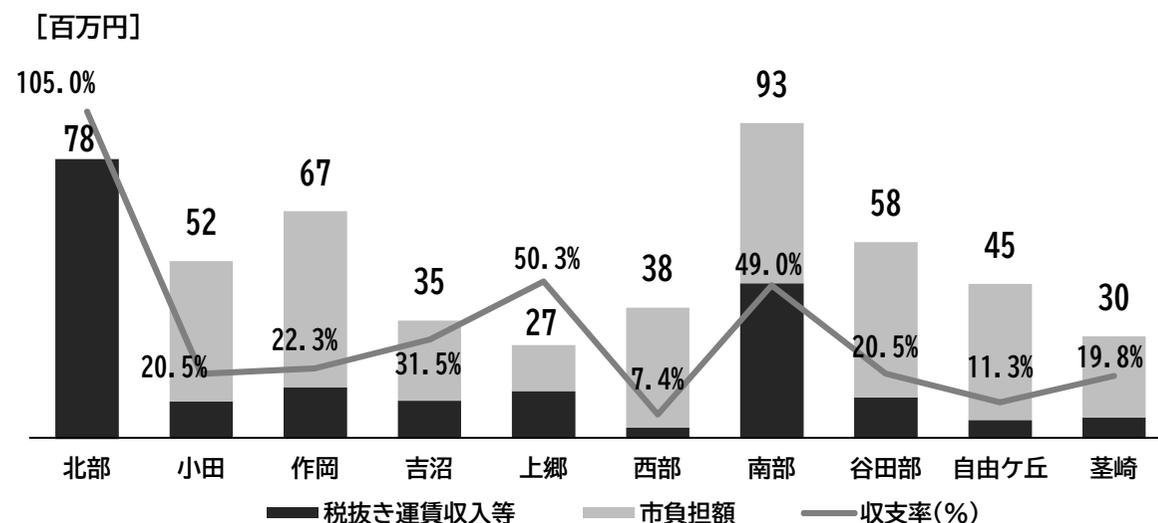
▼年度別収支一覧

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
(A)運行経費[円]	388,673,000	389,453,000	391,054,000	394,393,000	382,940,000	440,463,000	446,018,000	449,496,000	508,345,000	479,520,000	487,689,000	540,453,000	538,919,000
(B)税抜き運賃収入等[円]	133,075,743	155,366,382	160,579,809	172,991,731	184,936,148	196,528,389	206,281,445	213,038,713	197,674,803	127,153,068	145,047,192	189,479,755	222,892,055
(C)市負担額(A-B)[円]	255,596,000	234,086,000	230,472,000	221,400,000	198,001,000	243,933,000	239,734,000	236,455,000	310,668,000	352,365,000	342,640,000	350,971,000	316,024,000
(D)利用者数[人]	619,442	744,531	806,570	888,032	953,837	1,004,662	1,037,547	1,052,988	994,202	646,036	738,118	981,786	1,132,827
1人当たり運行経費(A/D)[円/人]	627	523	485	444	401	438	430	427	511	742	661	550	476
1人当たり市負担額(C/D)[円/人]	413	314	286	249	208	243	231	225	312	545	464	357	279
収支率(B/A)	34.2%	39.9%	41.1%	43.9%	48.3%	44.6%	46.2%	47.4%	38.9%	26.5%	29.7%	35.1%	41.4%

つくバスシャトル別収支

- 谷田部シャトルは利用者数が減少したものの、全10シャトルの平均収支率は約12.3%増加し、38.9%となった。
- 特に北部シャトルの収支率は、過去最高の105%となり、黒字転換となった。
- 西部シャトルを除くシャトルでは、2%以上の収支率の増加が見られた。
- 例年収支率が低い西部シャトルでは、前年度より収支率が0.1%減少し、1人当たり市負担額が1,881円と高い水準が続いている。

▼シャトル別収支率



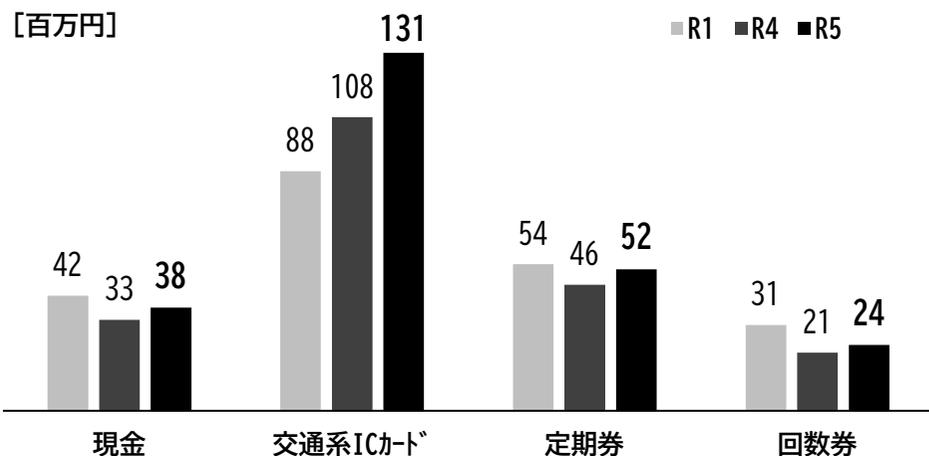
▼シャトル別収支一覧

	北部	小田	作岡	吉沼	上郷	西部	南部	谷田部	自由ヶ丘	茎崎	合計
(A)運行経費(バスロケーション等除く)[円]	78,253,000	52,115,000	66,753,000	34,500,000	37,286,000	38,310,000	92,838,000	57,677,000	45,313,000	29,868,000	532,913,000
(A')運行経費(A-車両関係費)[円]	78,253,000	52,115,000	51,282,792	34,500,000	36,652,771	29,461,322	72,210,023	52,520,264	36,051,122	29,136,636	472,182,930
(B)税抜き運賃収入等[円]	82,162,829	12,680,998	17,948,353	13,480,591	17,713,021	2,795,628	50,112,853	12,905,654	6,274,796	6,817,331	222,892,055
(C)市負担額(A-B)[円]	▲ 3,910,000	39,435,000	48,805,000	21,020,000	19,573,000	35,515,000	42,726,000	44,772,000	39,039,000	23,051,000	350,971,000
(D)利用者数[人]	394,089	70,381	83,561	71,314	85,962	18,884	243,646	72,670	38,381	53,939	1,132,827
1人当たり支払運賃(B/D)[円/人]	208	180	215	189	206	148	206	178	163	126	197
1人当たり市負担額(C/D)[円/人]	▲ 10	560	584	295	228	1,881	175	616	1,017	427	310
収支率(B/A)	105.0%	24.3%	26.9%	39.1%	47.5%	7.3%	54.0%	22.4%	13.8%	22.8%	41.8%
収支率(R4)	87.4%	20.6%	24.2%	31.7%	29.0%	7.4%	49.2%	20.6%	11.5%	19.5%	35.3%

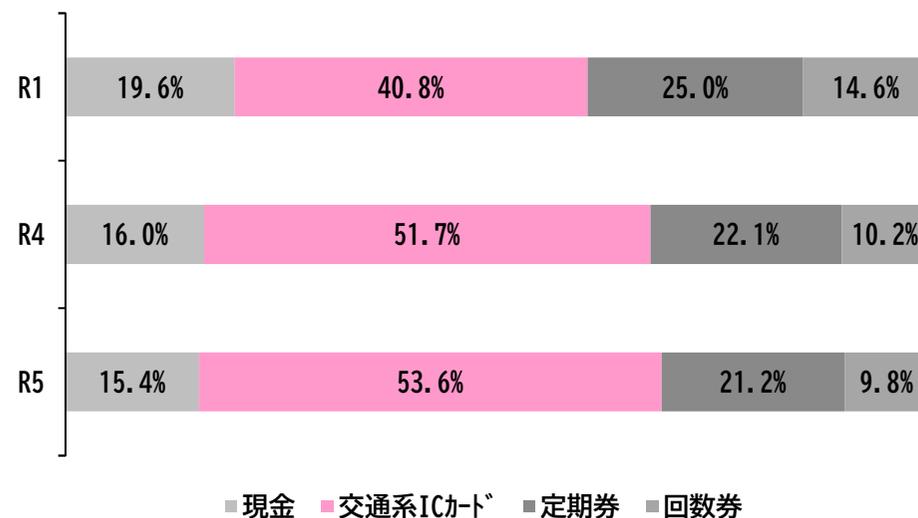
つくバス運賃支払い形態

- 前年度と比較すると、全ての支払い形態の金額が増加となっている。
- キャッシュレスの普及に伴い、年々交通系ICカードの支払利用割合が大きく伸びているものの、コロナ以後に浸透した働き方の新しいスタイル(テレワークなど)に伴い定期券や回数券の伸びは小さい。

▼運賃支払い形態別推移



▼運賃支払い形態別割合



▼運賃支払い形態一覧

[円]

	現金	交通系ICカード	定期券	回数券	合計
R1	42,122,550	87,886,920	53,752,930	31,460,090	215,222,490
R4	33,339,050	107,720,550	46,116,230	21,189,600	208,365,430
R5	37,724,140	131,281,900	51,882,620	24,038,700	244,927,360

令和5年度 つくたく利用実績

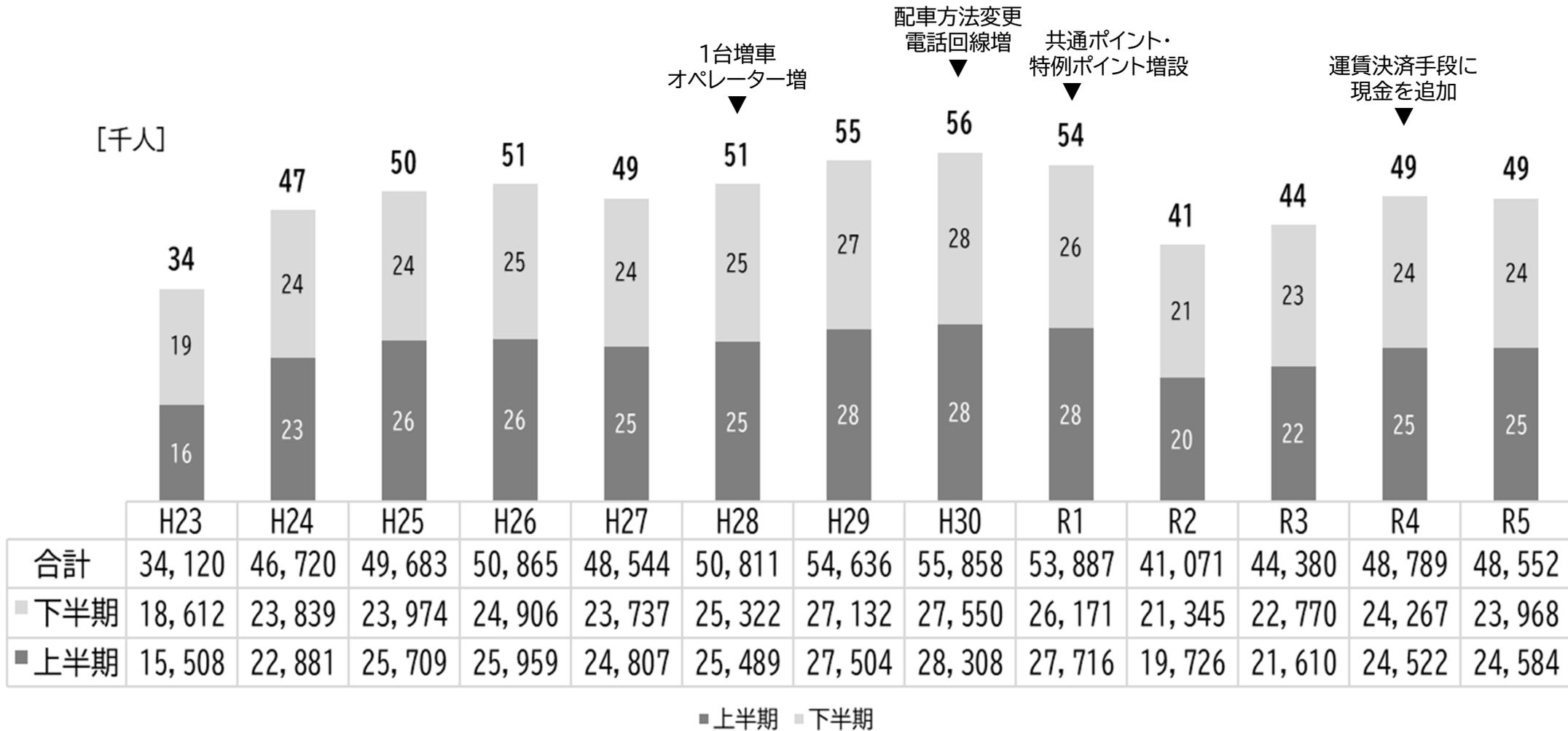
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



つくたく利用者数

- 令和5年度の利用者数は48,552人で、前年度比237人減少した。(約0.5%減)
- 昨年度から利用者数の伸び悩みが見られた。

▼年度利用者数

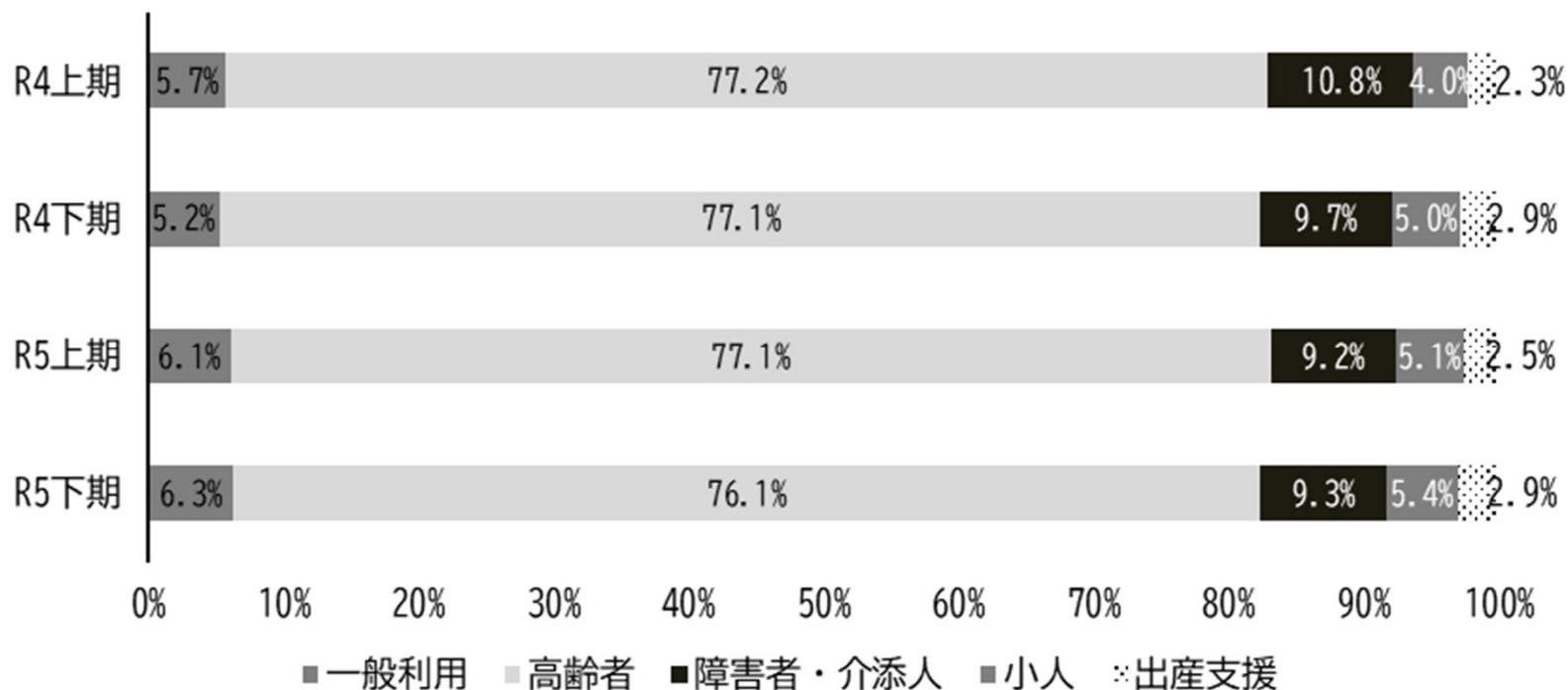


利用者属性

- 例年各属性の構成割合に大きな変化は見られず、依然として高齢者と障害者(介助人も含む)の利用が8割を超えている。
- 前年度と比較し、高齢者や障害者(介助人も含む)の利用割合が減少し、一般利用や小人の利用割合増加が見られた。

▼属性別利用割合

	一般利用	高齢者	障害者	小人	出産支援
R4通期	5.5%	77.2%	10.3%	4.5%	2.6%
R5通期	6.2%	76.6%	9.3%	5.2%	2.7%

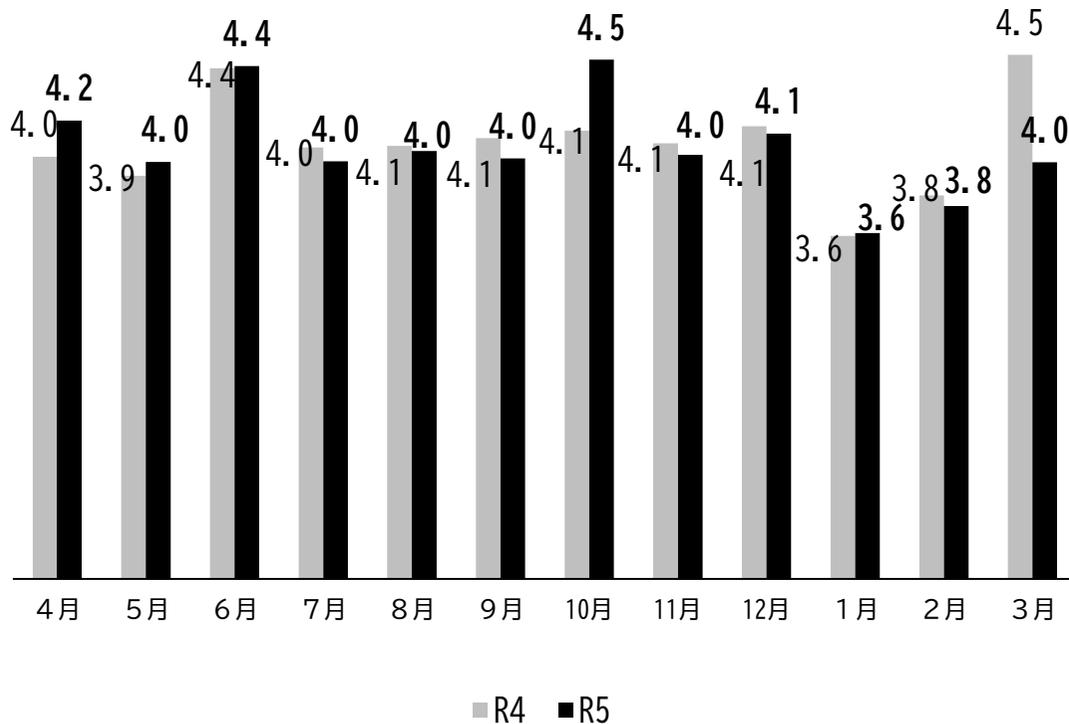


つくたく月別利用者数

- 月別利用者数は、前年度と比較し、半数以上の月で下回る結果となった。
- 1日当たり利用者数は、前年度と比較し、4月及び10月は大きく伸びたが、3月及び5月は大幅に減少が見られた。

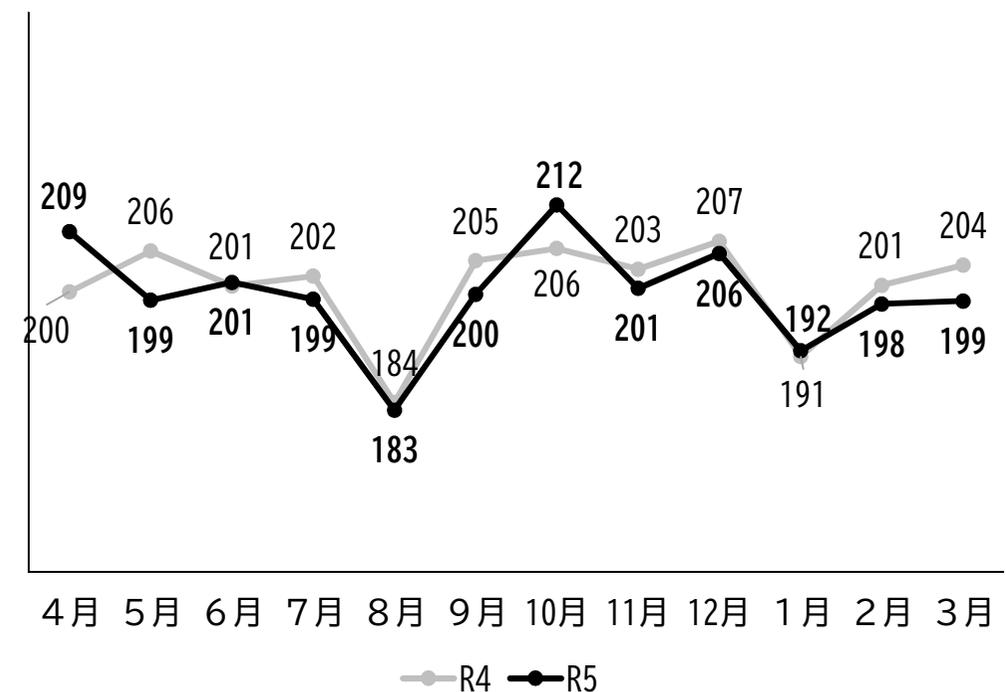
▼月別利用者数

[千人]



▼1日当たり利用者数

[人]



つくたく地区別・時間帯別利用者数

- 利用者数は前年度と比較して、谷田部地区及び荃崎地区において増加したが、筑波地区、大穂・豊里地区及び桜地区においては減少した。
- 地区別で見ると、谷田部地区は午前中(9時便、10時便)は減少したものの、最終便(16時台)の利用が上回ったため、全体の利用者数に微増が見られた。
- 時間帯別に見ると、午前中の時間帯は100人以上減少した。特に、9時台の利用者数が減少しており、前年度と比較して335人減少した。

前年同期比 100人以上増加
 前年同期比 100人以上減少

▼地区別・時間帯別 利用者数

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	1,298	1,176	904	578	770	708	790	1,175	7,399
大穂・豊里	1,568	1,367	979	1,125	953	992	902	1,072	8,958
桜	1,249	1,203	1,149	846	807	731	990	1,176	8,151
谷田部	2,607	2,613	1,700	1,704	1,693	2,212	2,092	2,210	16,831
荃崎	1,096	1,081	806	903	894	1,065	725	880	7,450
全地区	7,818	7,440	5,538	5,156	5,117	5,708	5,499	6,513	48,789



R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	1,232	1,174	865	556	785	712	722	1,126	7,172
大穂・豊里	1,442	1,271	857	1,076	989	963	922	1,126	8,646
桜	1,254	1,213	1,085	775	790	744	1,029	1,163	8,053
谷田部	2,476	2,477	1,738	1,735	1,715	2,200	2,082	2,534	16,957
荃崎	1,079	1,157	777	817	921	1,146	838	989	7,724
全地区	7,483	7,292	5,322	4,959	5,200	5,765	5,593	6,938	48,552

つくたく1台当たり利用者数

- 全ての地区の平均において、前年度と比較して利用者数が微減しており、全地区平均で3人減少した。
- 地区別に見ると、筑波、大穂・豊里及び桜地区で減少が、谷田部及び荃崎地区で増加が見られた。
- 全地区平均の数を時間帯別に見ると、9-12時台は減少したが、13-16時台は増加した。

(参考)時間帯別稼働台数

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
筑波	4	4	3	2	3	4	4	4
大穂・豊里	4	4	2	3	3	4	4	4
桜	3	3	3	2	2	2	3	3
谷田部	6	6	4	4	4	6	6	6
荃崎	3	3	2	2	2	3	3	3

※正午前後は昼休憩により稼働台数が減少する

- 前年同期比 20人/台以上増加
- 前年同期比 20人/台以上減少

▼地区別・時間帯別 1台当たり利用者数

[人/台]

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	325	294	301	289	257	177	198	294	267
大穂・豊里	392	342	490	375	318	248	226	268	332
桜	416	401	383	423	404	366	330	392	389
谷田部	435	436	425	426	423	369	349	368	404
荃崎	365	360	403	452	447	355	242	293	365
全地区平均	391	372	396	397	366	300	275	326	353



[人/台]

R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	308	294	288	278	262	178	181	282	259
大穂・豊里	361	318	429	359	330	241	231	282	318
桜	418	404	362	388	395	372	343	388	384
谷田部	413	413	435	434	429	367	347	422	407
荃崎	360	386	389	409	461	382	279	330	374
全地区平均	374	365	380	381	371	303	280	347	350

つくタク乗合率

- 乗合率に変化は見られず、前年度比は1%増にとどまった。
- 特に谷田部地区の16時台の乗合率が大きく伸び、12%増加が見られた。
- 荃崎地区の乗合率が増加した要因として、つくタクmobi実証実験で実施していた時間便制撤廃によるものと推測される。

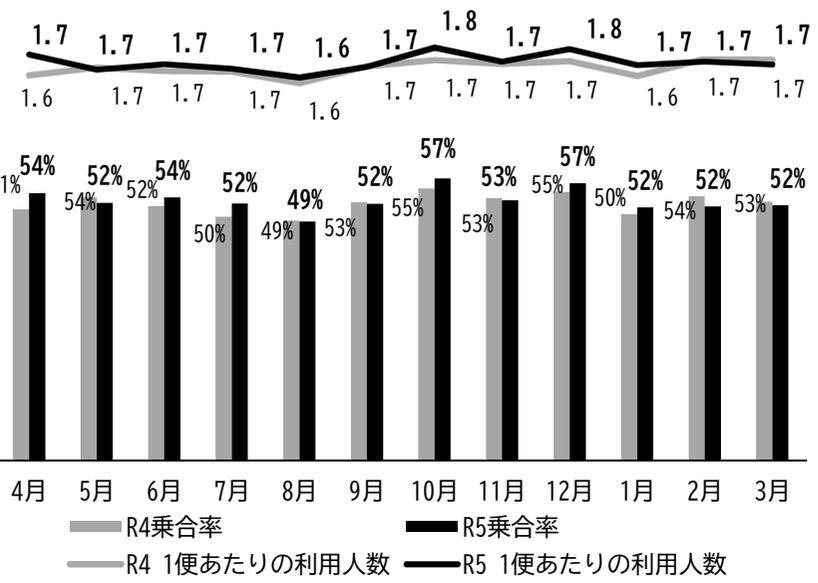
▼地区別・時間帯別 乗合率

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	47%	55%	43%	37%	35%	32%	26%	46%	41%
大穂・豊里	59%	52%	70%	53%	48%	37%	38%	32%	48%
桜	60%	57%	58%	59%	59%	53%	44%	54%	55%
谷田部	65%	64%	62%	63%	61%	52%	51%	52%	59%
荃崎	52%	56%	58%	68%	66%	54%	35%	48%	54%
全地区平均	58%	58%	58%	57%	54%	47%	41%	47%	52%



R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	48%	54%	43%	39%	41%	34%	34%	41%	43%
大穂・豊里	52%	48%	61%	51%	51%	41%	38%	33%	46%
桜	62%	62%	60%	55%	59%	56%	47%	57%	58%
谷田部	59%	57%	64%	64%	65%	52%	48%	64%	58%
荃崎	53%	62%	59%	58%	67%	55%	46%	55%	57%
全地区平均	55%	56%	58%	55%	57%	48%	44%	51%	53%

▼月別 乗合率



※乗合率は稼働した台数のうち、2人以上利用のあった台数の割合を示す

- 前年同期比 5ポイント以上増加
- 前年同期比 5ポイント以上減少

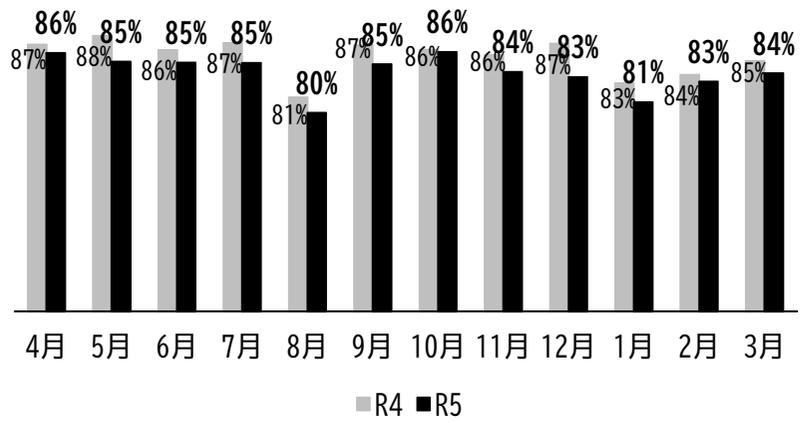
つくたく車両稼働率

- 前年度と比較して、谷田部地区を除く4つの地区で減少が見られた。
- 特に稼働率の減少が見られたのは、筑波地区の15時台及び荃崎地区の12時台で、9%減であった。
- お断りがあるにも関わらず、稼働率が100%でないのは、直前にキャンセルが発生し、その後予約が埋まらなかった車両があるためと推測される。

▼地区別・時間帯別 車両稼働率

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	86%	72%	83%	82%	75%	53%	62%	79%	73%
大穂・豊里	89%	86%	94%	91%	82%	71%	63%	79%	81%
桜	95%	93%	91%	96%	95%	91%	88%	93%	93%
谷田部	98%	98%	97%	97%	97%	91%	86%	93%	94%
荃崎	89%	84%	92%	95%	92%	83%	68%	75%	84%
全地区平均	92%	87%	92%	93%	88%	78%	74%	85%	85%

▼月別 稼働率



前年同期比 5ポイント以上増加
 前年同期比 5ポイント以上減少

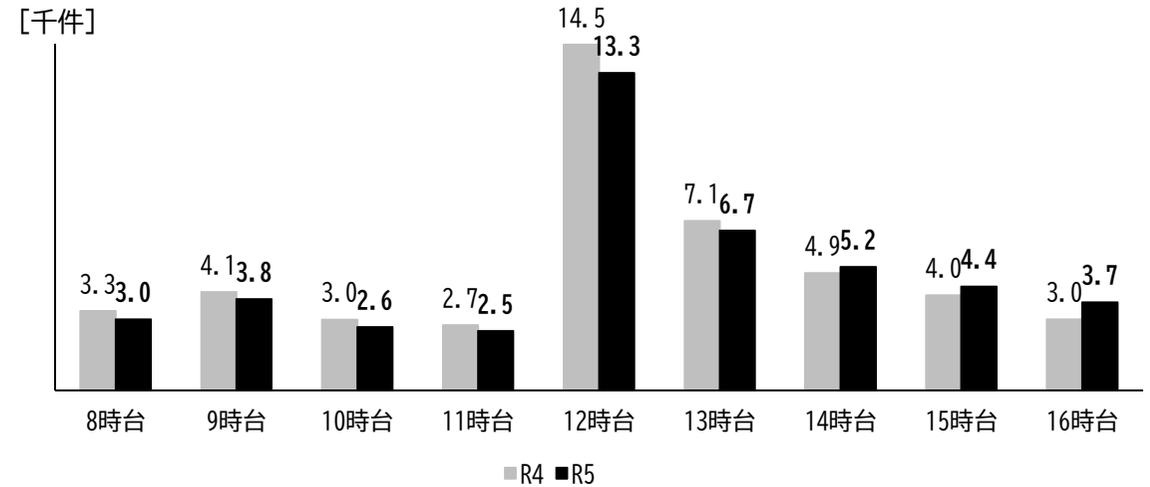


R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	82%	74%	78%	79%	74%	53%	53%	79%	71%
大穂・豊里	87%	82%	91%	89%	83%	66%	63%	80%	79%
桜	94%	91%	84%	94%	93%	88%	89%	91%	90%
谷田部	96%	97%	98%	97%	96%	91%	87%	93%	94%
荃崎	83%	82%	86%	86%	89%	86%	69%	76%	81%
全地区平均	89%	86%	88%	90%	87%	77%	73%	85%	84%

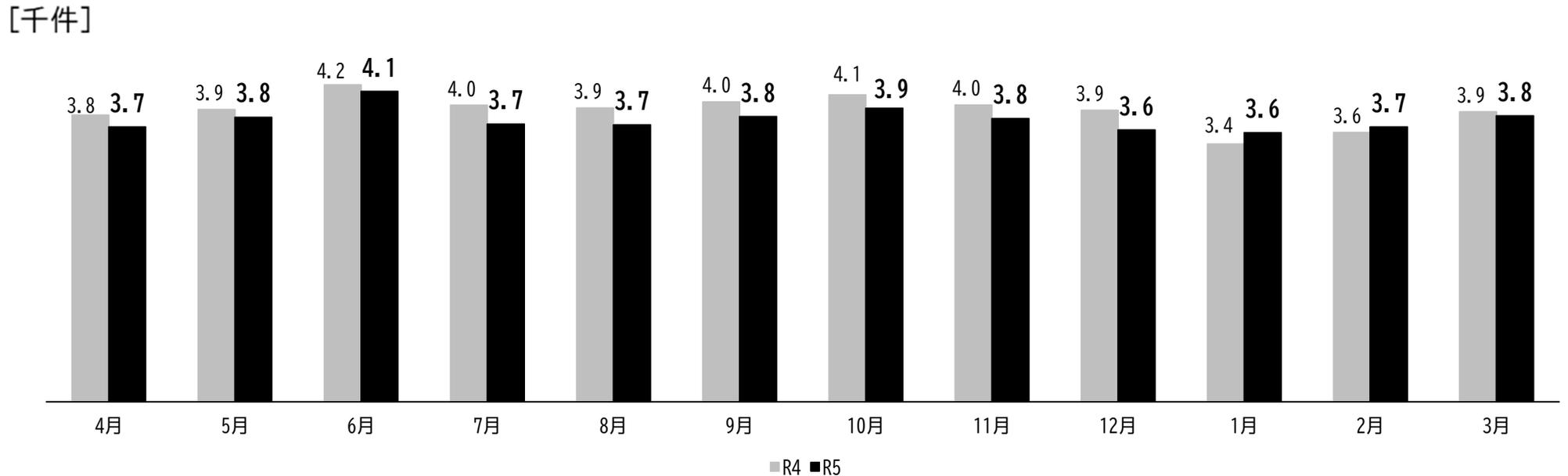
つくタクの予約センターへの電話着信数

- 月別では、前年度と比較し、1月と2月を除き前年同月を下回っている。
- 年間のコール件数も前年度と比較し、減少が見られた。
(R4:46,675件、R5:45,201件)
- 1月と2月が増えている要因は、通常の予約に加えて、令和5年12月から3か月間実施していたつくタクmobi実証実験の問い合わせによるものと推測される。

▼時間別応答数



▼月別応答数



つくたくの予約お断り数

- 前年度と比較して、全体的にお断り件数が増加した。
- 月別では、前年度と比較して、ほとんどの月で増加または横ばいになっている。一方で7月は大幅な減少に転じている。
- 全地区にて、11時台、12時台、13時台の予約お断り数が多い。

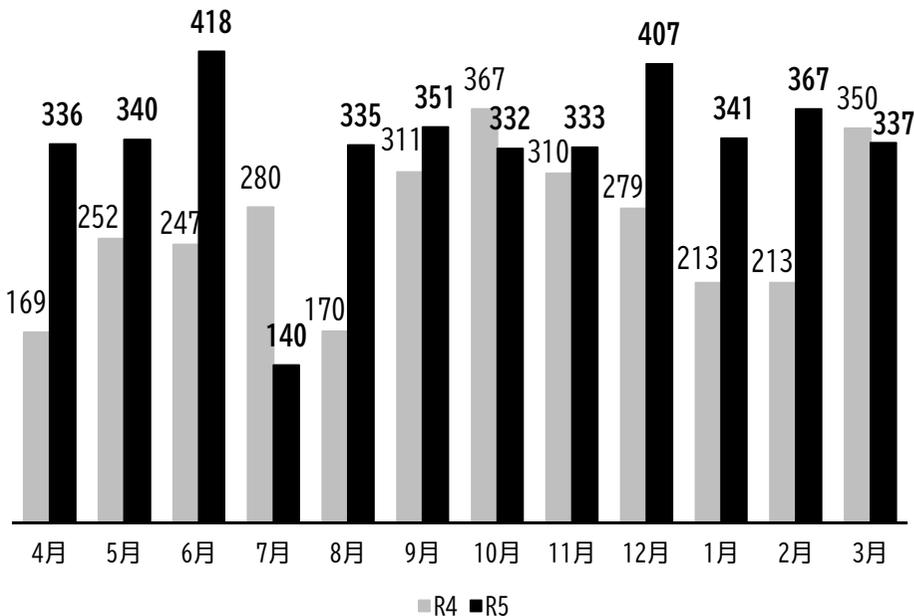
▼地区別・時間帯別 お断り数

[人]

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	29	27	18	27	13	10	20	23	167
大穂・豊里	65	37	41	59	28	8	12	12	262
桜	147	142	120	166	179	149	90	122	1,115
谷田部	232	193	174	216	231	78	81	157	1,362
荃崎	25	24	50	52	52	19	18	15	255
全地区	498	423	403	520	503	264	221	329	3,161

▼月別お断り数

[人]



[人]

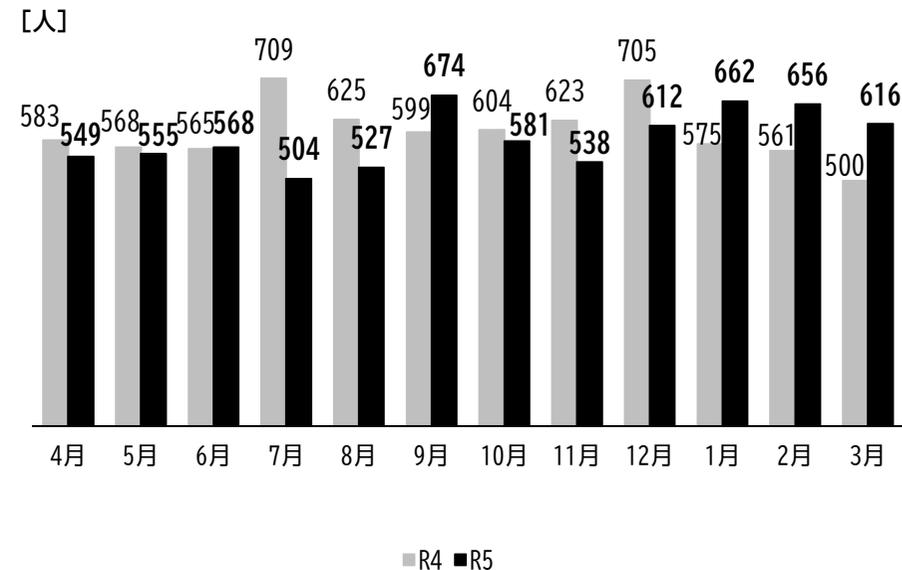
R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	30	41	47	46	33	20	24	24	265
大穂・豊里	102	51	87	47	42	23	18	57	427
桜	122	149	160	187	222	105	82	159	1,186
谷田部	241	191	237	278	250	100	83	233	1,613
荃崎	45	65	94	114	95	68	41	24	546
全地区	540	497	625	672	642	316	248	497	4,037

 前年同期比 20人以上減少
 前年同期比 20人以上増加

つくたくの予約キャンセル数

- 前年度と比較して、全体的にキャンセル数が減少したものの、地区別・時間帯別に見ると、増加が多く見られる箇所もある。
- 時間帯別に見ると、14時台及び16時台のキャンセルが多く、前年度より96件増加した。
- 谷田部地区は407件減少した一方で、荃崎地区ではキャンセルが200件以上増加した。
- 月別に見ると、約半数の月で減少が見られた。

▼月別キャンセル数



▼地区別・時間帯別 キャンセル数

[人]

R4	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	78	87	79	62	141	93	109	126	775
大穂・豊里	119	115	80	137	133	105	132	117	938
桜	153	181	169	174	150	125	174	240	1,366
谷田部	272	401	293	359	347	506	444	635	3,257
荃崎	81	108	96	120	143	119	93	121	881
全地区	703	892	717	852	914	948	952	1,239	7,217



[人]

R5	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	64	121	79	74	110	118	97	153	816
大穂・豊里	103	93	93	131	125	128	105	199	977
桜	132	161	135	155	152	157	192	234	1,318
谷田部	275	356	255	336	295	393	391	549	2,850
荃崎	99	111	126	132	120	201	141	151	1,081
全地区	673	842	688	828	802	997	926	1,286	7,042

 前年同期比 20人以上減少
 前年同期比 20人以上増加

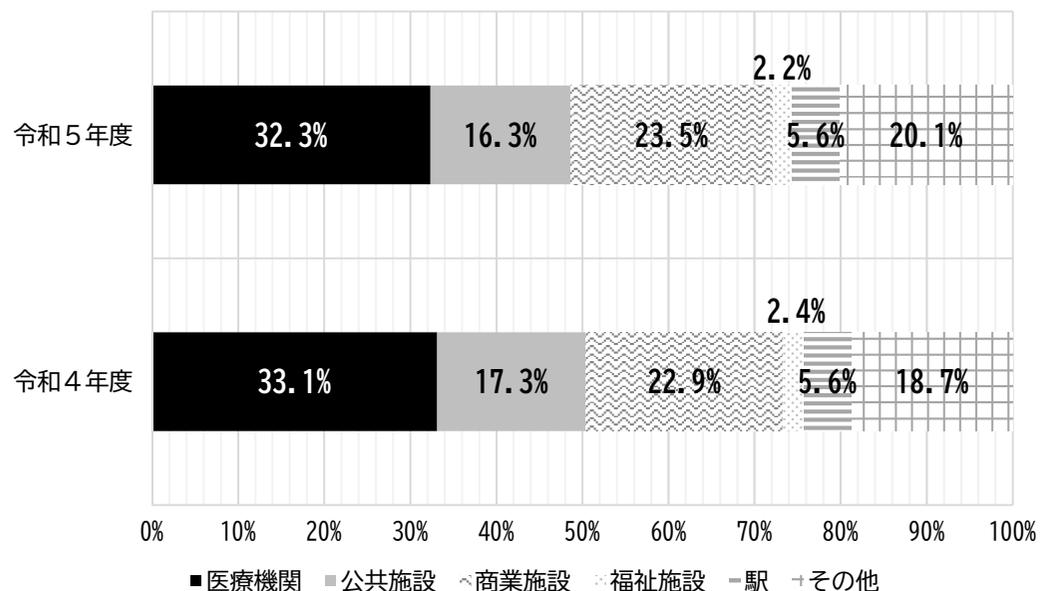
つくたく乗降場所 1/2

- つくたく停留所は、令和5年度に廃止7件、新設2件、移設4件を実施した。廃止理由としては店舗等の廃業によるものや交通量が多い幹線道路沿い等に設置された危険停留所の排除によるものである。

※令和5年度末時点で、乗降場所は719か所である。

- 乗降場所の区分別利用割合を見ると、商業施設及びその他の利用回数が増加し、割合も増加が見られた。

- その他は、建物等によらず設置した乗降場所の利用を指す。(例:研究学園6丁目 など)



区分	令和5年度			令和4年度			増減	
	乗降場所数	利用回数	割合	乗降場所数	利用回数	割合	乗降場所数	利用回数
医療機関	103	18,865	32.3%	99	19,788	33.1%	4	-923
公共施設	94	9,517	16.3%	96	10,355	17.3%	-2	-838
商業施設	25	13,695	23.5%	27	13,660	22.9%	-2	35
福祉施設	26	1,278	2.2%	26	1,422	2.4%	0	-144
駅	4	3,260	5.6%	4	3,333	5.6%	0	-73
その他	476	11,727	20.1%	480	11,202	18.7%	-4	525
合計	728	58,342		732	59,760		-4	-1418

つくたく乗降場所 2/2

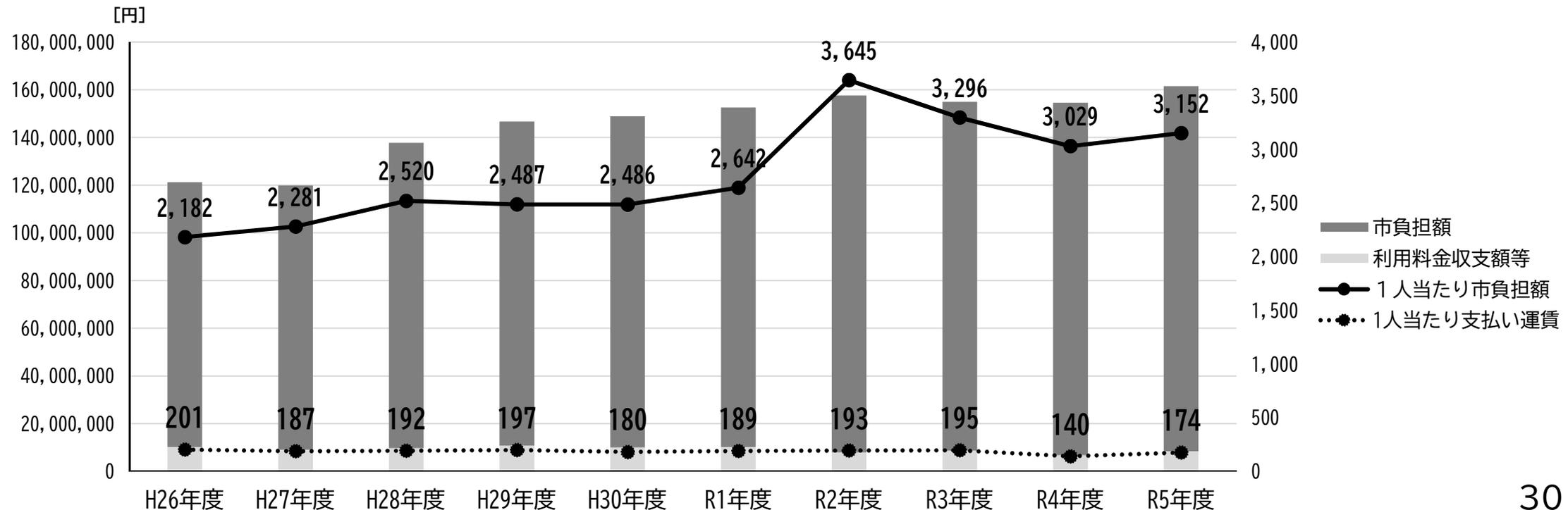
- 利用人数の多い乗降場所上位20か所のうち、14か所を共通ポイント及び特例ポイントが占めており、利用者の主要な移動希望先として機能していると考えられる。
- 上位20か所だけで29,947回(全体の52%)利用されており、特に「クレオ前」、「イオンモールつくば」及び「フードオフストッカー牛久ししこ店」の増加が大きかった。

順位	利用場所名	属性	備考	R5	R4	昨年度の順位	増減
1	E223 イオンモールつくば	商業施設	特例	3,536	3,107	1	429
2	B35-1 筑波総合クリニック	医療機関	特例	2,812	2,689	3	123
3	E107-1 筑波学園病院	医療機関	特例/共通(限定)	2,671	2,807	2	-136
4	E6 イーアスつくば	商業施設	共通	2,407	2,380	5	27
5	D69 筑波大学病院前	医療機関	共通	2,237	2,397	4	-160
6	D67 つくばセンター	駅	共通	2,076	2,180	6	-104
7	B14 大穂窓口センター	公共施設	特例	2,023	2,112	7	-89
8	D33 クレオ前	商業施設	共通	1,500	1,038	12	462
9	B70 カスミ大穂店	商業施設		1,376	1,697	8	-321
10	D71 筑波メディカルセンター前	医療機関	共通	1,135	1,218	10	-83
11	B35 筑波記念病院	医療機関	特例	1,031	1,011	13	20
12	F84 しみず整形外科リハビリクリニック	クリニック		1,024	1,325	9	-301
13	F91 フードオフストッカー牛久ししこ店	商業施設		967	665	18	302
14	B3 いちはら病院	医療機関	特例	919	1,004	14	-85
15	E112 つくば市役所	公共施設	共通	902	1,133	11	-231
16	F80 高見原一丁目(マスダ)	商業施設		792	933	15	-141
17	B2 いきいきプラザ	公共施設		700	786	16	-86
18	A52 つくばウェルネスパーク	公共施設	特例	670	560	20	110
19	E65 研究学園駅	駅	共通	634	762	17	-128
20	A85-1 北条(広瀬医院前)	クリニック		535	473	23	62

収支状況

- 運行経費は、年間約404万円増加し、約1億6,173万円となった。
- 収入は、約162万円増加し、約884万円となった。
- 1人1回当たり市負担額は、122円増加し、3,152円となった。
- 収支率は0.9%増加し、5.2%となった。

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	対前年度比較
(A)運行経費(円)	121,234,126	119,843,113	137,779,750	146,635,535	148,890,683	152,584,615	157,620,154	154,918,884	157,688,504	161,729,010	4,040,506
(B)利用料金収支額等(円)	10,248,544	9,092,313	9,734,950	10,760,050	10,052,350	10,206,475	7,929,550	8,663,250	6,810,900	8,434,900	1,624,000
(C)市負担額(円)	110,985,582	110,750,800	128,044,800	135,875,485	138,838,333	142,378,140	149,690,604	146,255,634	147,803,247	153,024,400	5,221,153
(D)利用者数(人)	50,865	48,544	50,811	54,636	55,858	53,887	41,071	44,380	48,789	48,552	-237
1人当たり支払い運賃(円/人)	201	187	192	197	180	189	193	195	140	174	34
1人当たり市負担額(円/人)	2,182	2,281	2,520	2,487	2,486	2,642	3,645	3,296	3,029	3,152	122
収支率	8.5%	7.6%	7.1%	7.3%	6.8%	6.7%	5.0%	5.6%	4.3%	5.2%	0.9%



つくたくモビ実証実験

※令和5年12月から令和6年2月までの3か月間、荃崎地区のつくたく車両を1台を活用し、AIオンデマンドシステムを導入した実証実験を行った結果を報告するもの。

- つくたくモビの利用者数は384人で、そのうち実利用者数は88人であった。
- アプリ予約限定にしたものの、高齢者の利用割合は全体の7割となった。これは、実証実験のチラシを複数回全戸配布したことやアプリ説明会を実施したことで、利用方法が徐々に周知された結果だと推測される。
※チラシの全戸配布:4回、アプリ説明会:14回、そのほかスーパーでの説明対応を実施。

▼実験概要

0.運行に関する詳細

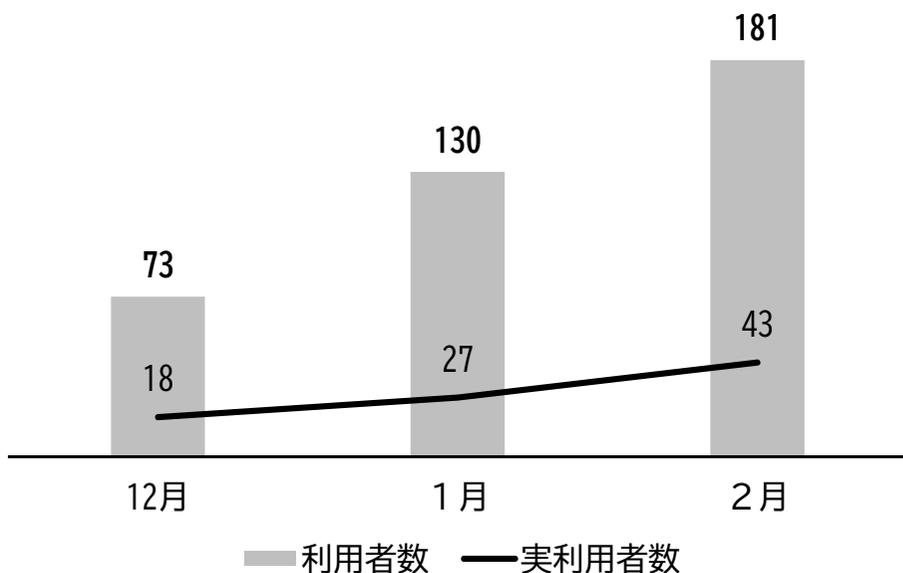


実証期間	令和5年12月1日～令和6年2月29日(3か月)
運行時間	月曜から金曜 9:00～13:00, 14:00～17:00 ※運休日: 土日祝、2023/12/29～2024/1/3
対象地区	つくば市つくたく荃崎地区
乗降場所	つくたく荃崎地区乗降ポイント: 84箇所 ・荃崎交流センター ・つくば双愛病院 ・宝陽台公民館 ・森の里中央 ・しみず整形外科リハビリクリニック ・フードオフストッカー牛久ししこ店 ・筑波胃腸病院 …など 特例ポイント: 5箇所 ・上橋場交差点 ・高野台中央 ・五十塚 ・筑波学園病院 ・イオンモールつくば
運行台数	1台
乗車定員	8人

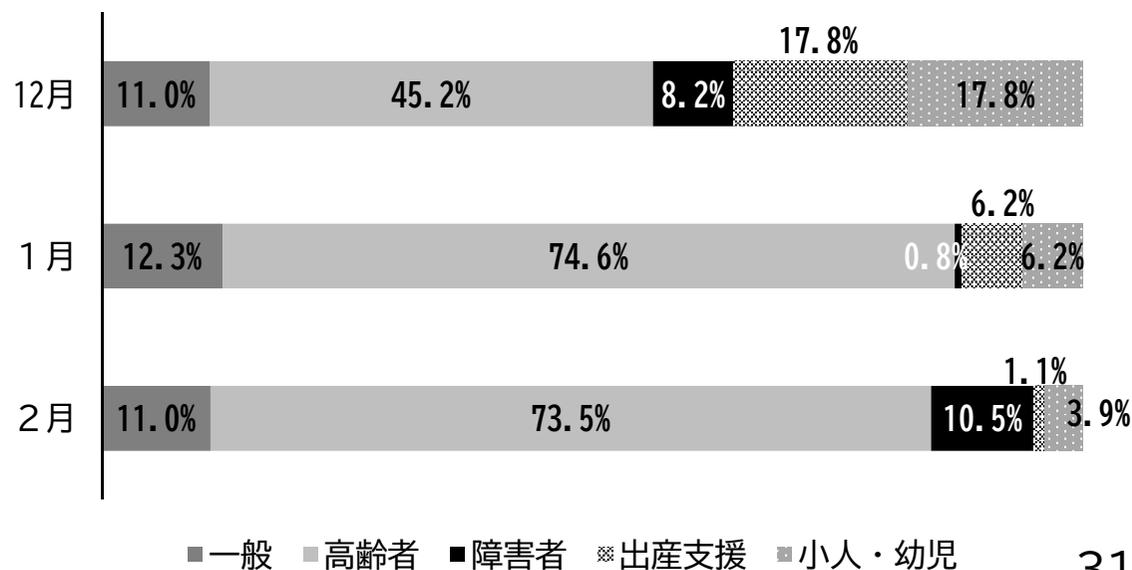
2

▼月別利用者数

[人]



▼属性別利用割合



令和5年度つくばね号利用実績

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



利用者数(全体、月別)

※つくばね号は令和4年10月から本格運行開始のため、令和4年度実績はR4.10からR5.3までの期間の実績を指す。

- 令和5年度の利用者数は6,138人で、1日当たりの利用者数は17.1人であった。
- 1便当たりの利用者数は1.05人であり、**目標の「1便当たりの利用者数が1.0人以上」に達した。**令和5年10月改正で部分運休実施期間の見直しや17便の増便を行ったことに伴う利便性の向上によるものと推測される。
- 月別利用者数は、すべての月で前年度より増加が見られた。

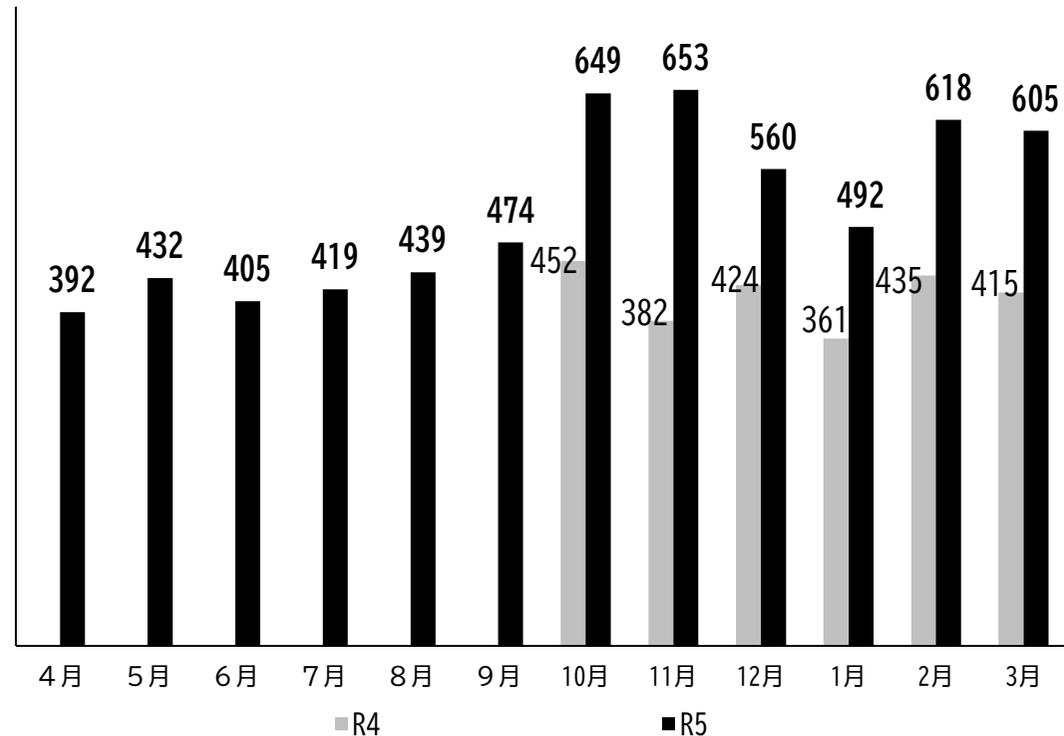
▼全体利用者数

[人]

	R4	R5
利用者数	2,469	6,138
1日当たり利用者数	14.0	17.1
1便当たり利用者数(全体)	0.88	1.05
1便当たり利用者数(平日)	0.93	1.04
1便当たり利用者数(土日祝)	0.60	1.02

▼月別利用者数

[人]



利用実績(上り:筑波中央病院 行)

- 便別に見ると、平日の1便の利用者数が多い。利用者の乗降場所を分析すると、北条仲町の利用者が多く、停留所付近の医療機関への通院利用と推測される。
- 10月改正後増便した17便は、休日の利用者が多く見られた。筑波山シャトルバスの最終便終了後に下山する観光客の利用と推測される。
- 停留所別に見ると、前年度よりも筑波山口や筑波山神社入口など観光利用の利用者が多く見られた。そのほか筑波山口は、交通結節点としての利用も推測される。

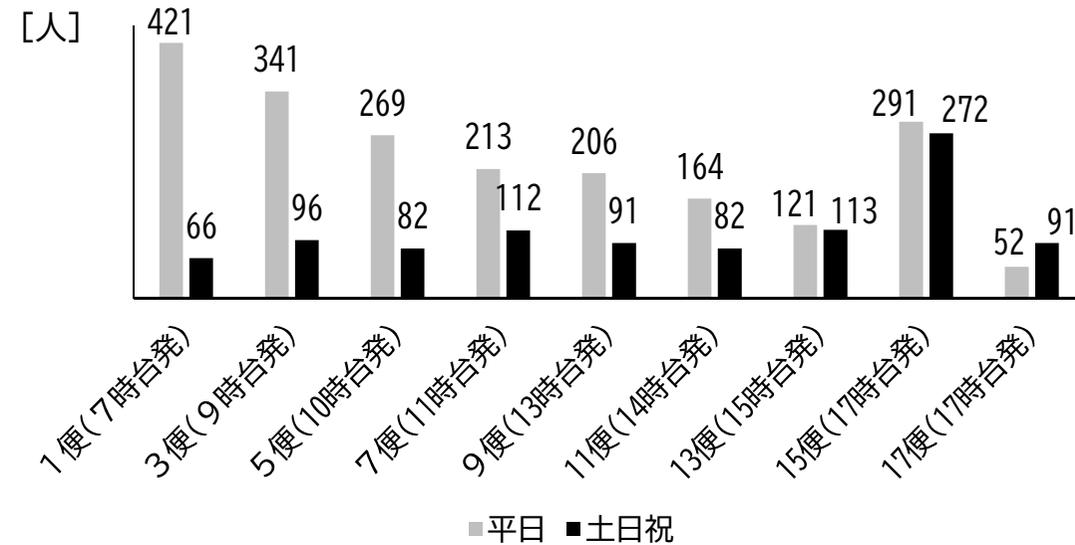
▼利用者属性割合

	平日上り	土日祝上り	平均(上り)	平均(上下)
一般	66%	89%	78%	77%
高齢者	30%	8%	19%	19%
その他	4%	3%	4%	4%
合計	100%	100%	100%	100%

※高齢者は、つくば市高齢者運賃割引証を提示した者

※その他は、障害者手帳提示者、出産支援割引証提示者、小人及び未就学児の利用者を指す。

▼便別(時間帯別)利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	平日	土日祝	合計
34 筑波ふれあいの里入口(つくば湯)	1.2	1.0	2.2
33 東山入口	0.2	0.1	0.3
32 筑波山郵便局入口	1.3	0.7	2.0
31 筑波山神社入口	3.2	2.0	5.2
30 二十三夜前	0.1	0.07	0.17
29 沼田上坪	0.2	0.08	0.28
28 筑波山口	3.8	2.7	6.5
27 沼田中坪	0.1	0.08	0.18
26 沼田東	0.00	0.03	0.03
25 飯名神社入口	0.01	0.03	0.04
24 臼井	0.1	0.2	0.3
23 臼井入口	0.06	0.2	0.26
22 立野西	0.09	0.03	0.12
21 立野東	0.2	0.2	0.4
20 六所	0.3	0.2	0.5
19 館	0.1	0.1	0.2
18 神郡東	0.1	0.1	0.2
17 神郡	0.3	0.3	0.6
16 神郡南	0.1	0.1	0.2
15 つくば田井郵便局	0.06	0.0	0.06
14 北条横町北	0.00	0.1	0.1
13 平沢官衙西入口	0.1	0.1	0.2
12 平沢中央	0.2	0.3	0.5
11 平沢東	0.03	0.02	0.05
10 山口	0.5	0.4	0.9
9 市民研修センター	0.7	0.4	1.1
8 北条大池・運動公園入口	0.1	0.2	0.3
7 北条新町	0.1	0.2	0.3
6 旧北条駅入口	0.4	0.3	0.7
5 北条仲町	1.3	0.9	2.2
4 北条	0.2	0.1	0.3
3 カスミ筑波店	0.9	1.0	1.9
2 筑波交流センター	0.8	1.2	2.0
1 筑波中央病院	0.6	0.5	1.1

利用実績(下り:筑波ふれあいの里(つくば湯)行)

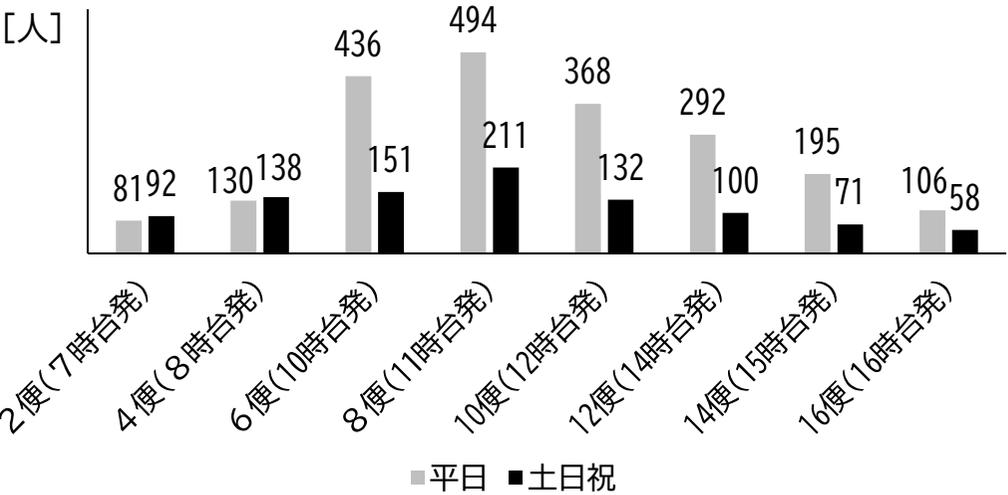
- 便別をみると、上りに比べて平日の日中(6, 8便)の利用者数が多い。利用者の乗降場所を分析すると、カスミや筑波山口の利用が多く見られたので、生活路線としてのみならず、観光利用としても使用されたと推測される。
- 停留所別に見ると、筑波山口の利用が多いことから、上り同様に交通結節点としての利用が推測される。

▼利用者属性割合

	平日下り	土日祝下り	平均(下り)	平均(上下)
一般	68%	84%	76%	77%
高齢者	28%	10%	19%	19%
その他	4%	6%	5%	4%
合計	100%	100%	100%	100%

※高齢者は、つくば市高齢者運賃割引証を提示した者
 ※その他は、障害者手帳提示者、出産支援割引証提示者、小人及び未就学児の利用者を指す。

▼便別(時間帯別)利用者数



※R5.10改正により、2便は8時台→7時台、16便は17時台→16時台となった。

▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4
1 筑波中央病院	0.7	0.9
2 筑波交流センター	1.0	1.2
3 カスミ筑波店	1.4	1.2
4 北条	0.05	0.1
5 北条仲町	0.4	0.2
6 旧北条駅入口	0.2	0.3
7 北条新町	0.04	0.05
8 北条大池・運動公園入口	0.1	0.2
9 市民研修センター	0.2	0.3
10 山口	0.6	0.3
11 平沢東	0.03	0.03
12 平沢中央	0.2	0.3
13 平沢官衙西入口	0.04	0.1
14 北条横町北	0.01	0.02
15 田井郵便局	0.00	0.1
16 神郡南	0.1	0.1
17 神郡	0.2	0.2
18 神郡東	0.1	0.1
19 館	0.1	0.1
20 六所	0.3	0.4
21 立野東	0.3	0.2
22 立野西	0.1	0.1
23 臼井入口	0.1	0.3
24 臼井	0.2	0.2
25 飯名神社入口	0.03	0.1
26 沼田東	0.01	0.03
27 沼田中坪	0.1	0.1
28 筑波山口	4.2	2.4
29 沼田上坪	0.3	0.2
30 二十三夜前	0.2	0.1
31 筑波山神社入口	2.8	1.4
32 筑波山郵便局入口	2.4	1.6
33 東山入口	0.1	0.2
34 筑波ふれあいの里入口(つくば湯)	0.5	1.0

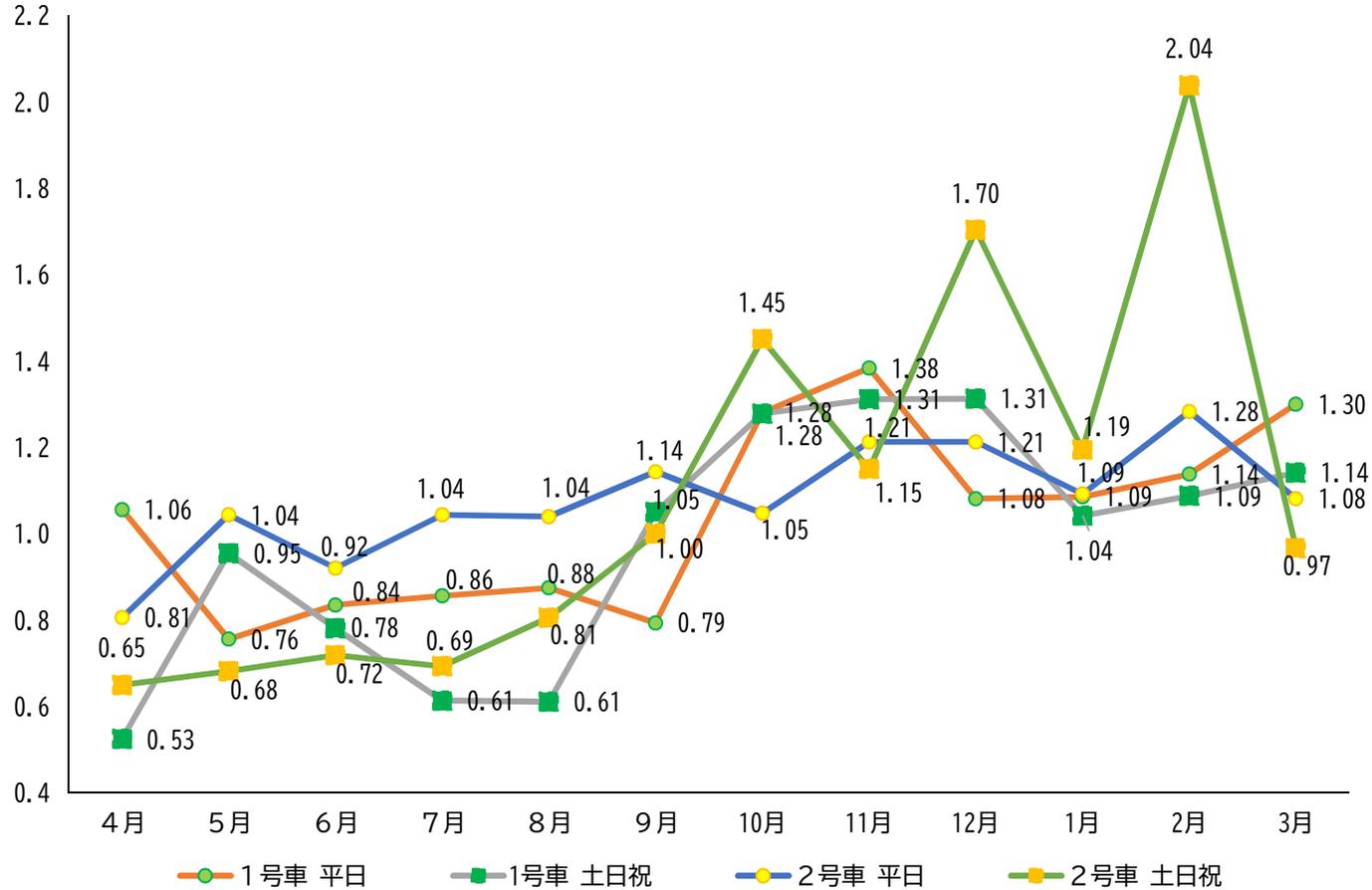
1便当たり利用者数

目標:1便当たりの利用者数が1.0人以上

- 車両別の1便当たり利用者数は、2号車土日祝の2月に利用者が多く見られた。梅まつり開催期間中の部分運休を廃止したことによる利用増加によるものと推測される。
- そのほかの号車や曜日でも10月以降は、1便当たり1.0人以上の利用者が見られた。
- 曜日別の1便当たり利用者数は、金曜日と土曜日が多い。

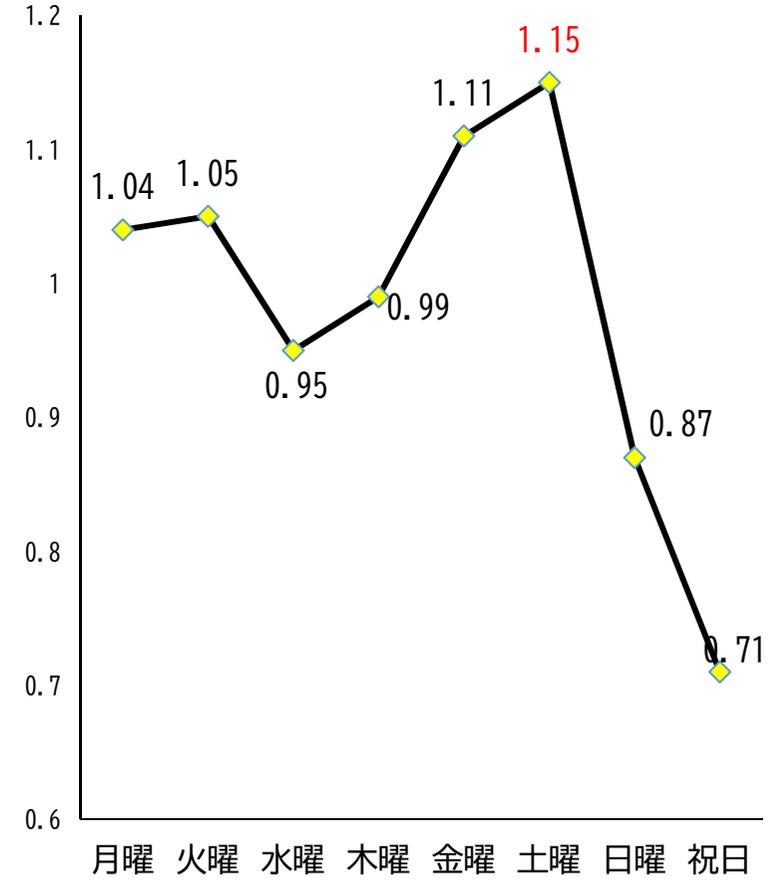
▼車両別の1便当たり利用者数

[人/便]



▼曜日別の1便当たり利用者数

[人/便]



(1号車:1、4、5、8、9、12、13、16及び17便 2号車:2、3、6、7、10、11、14及び15便)

令和6年度国庫補助金申請状況 (令和5年10月～令和6年5月の利用(速報値))

<R6補助金対象期間：R5.10～R6.9>

- 今年度申請分においては、5月時点で5つの申請単位のうち、3つで補助金対象便の要件(1便当たり1.0人以上)を満たしている。

[人/便]

		全体	うち平日便	うち土日祝日便	うち補助金対象便(※)	
8か月平均		1.19	1.13	1.25	1.19	
内 訳	R 5	10月	1.23	1.16	1.36	1.27
		11月	1.28	1.30	1.23	1.52
		12月	1.25	1.09	1.43	1.22
	R 6	1月	1.10	1.03	1.06	1.03
		2月	1.33	1.15	1.50	1.25
		3月	1.15	1.19	1.05	1.15
		4月	1.03	0.93	1.14	1.03
		5月	1.14	1.20	1.22	1.04

<(※)補助金対象便の内訳(申請単位)> ※補助金対象便とは、つくたくの運行時間(平日の9:00～17:00)と重複していない平日の便と土日祝の終日便

1号車 (通常運行日+部分運休日の通常運行便のみ※17便除く)	1号車 (部分運休日の部分運行便のみ)	1号車 (17便のみ)	2号車 (通常運行日+部分運休日の通常運行便のみ)	2号車 (部分運休日の部分運行便のみ)
1.25	0.55	1.62	1.14	0.69

(1号車: 1、4、5、8、9、12、13、16、17便 2号車: 2、3、6、7、10、11、14、15便)

収支状況

- 1人1回当たり市負担額は、前年度と比較すると967円減少したものの、4,281円と高い額である。
- 収支率は前年度より0.4%増加した。

令和5年度 つくばね号収支 (R5.4.1~R6.3.31)	
(A) 運行経費 (円)	27,177,527
(B) 運賃収入等 (円)	989,500
(B') 運賃収入 (消費税抜)	899,545
(C) 市負担額 (円) (A-B')	26,277,982
(D) 利用者数 (人)	6,138
1人当たり市負担額(円/人) (C/D)	4,281
収支率 (B'/A)	3.3%
参考：令和4年度収支率(※1)	2.9%
参考：R6年度国庫補助金(フィーダー系統補助)交付予定額(※2) (円)	5,800,000

※1：令和4年度はR4.10からR5.3までの収支率

※2：現時点での目安のため、今後変動する可能性がある。

参考:つくばね号路線上でのつくたく使用状況(R5)

- つくばね号路線上でのつくたぐの利用回数は、318件あった(片道1回分を1件として計算)が、実利用者数は26人であった。
- そのうち、つくばね号路線沿いでつくたくを利用した事例は、令和5年度は1件であった。
- 自宅利用者の登録場所とそれぞれ最寄りのつくばね号停留所までの距離を調べると、100m~800mで幅があり、なかにはつくばね号の停留所まで移動が困難な高齢者利用が見られた。

▼つくたく予約リスト

回数	乗降場所①	⇔	乗降場所②
91	自宅(筑波)	⇔	A85-1 北条(広瀬医院前)
67	自宅(神郡)	⇔	A53 筑波高校
40	自宅(筑波)	⇔	A53 筑波高校
34	自宅(神郡)	⇔	A62 筑波交流センター
19	自宅(臼井)	⇔	A62 筑波交流センター
13	自宅(北条)	⇔	A53 筑波高校
10	自宅(北条)	⇔	A38 市民研修センター
10	自宅(山口)	⇔	A50 中央病院
8	自宅(筑波)	⇔	A50 中央病院
7	自宅(筑波)	⇔	A62 筑波交流センター
4	自宅(神郡)	⇔	A38 市民研修センター
4	自宅(臼井)	⇔	A85-1 北条(広瀬医院前)
3	自宅(北条)	⇔	A85-1 北条(広瀬医院前)
3	自宅(北条)	⇔	A50 中央病院
3	自宅(神郡)	⇔	A85-1 北条(広瀬医院前)
1	自宅(筑波)	⇔	A54 筑波山口
1	A54 筑波山口	⇔	A55 筑波山神社入口

- ※A53 筑波高校は、カスミ筑波店の最寄り乗降場所である。
- ※自宅は大字ごとにまとめたものであり、特定の場所ではない。

令和5年度路線バス運行実証実験 (石下・土浦線経路変更)利用実績

(令和5年4月1日～令和6年3月31日のサンプル調査)



路線バス運行実証実験事業(石下・土浦線経路変更) 利用状況

※利用者数は、毎月実施している1週間のサンプル調査結果

[サンプル調査期間別利用者数]

- 5つの停留所の1日当たりの平均利用人数は6.1人である。
- 評価対象となる、学園の森西を除いた4つの停留所の1日当たりの平均利用人数は4.9人である。令和4年度及び令和5年度のサンプル調査期間で、目標値の4.0人を上回った。
- この結果を踏まえ、実証実験は終了し、令和6年度から関鉄パープルバスによる本格導入を開始している。

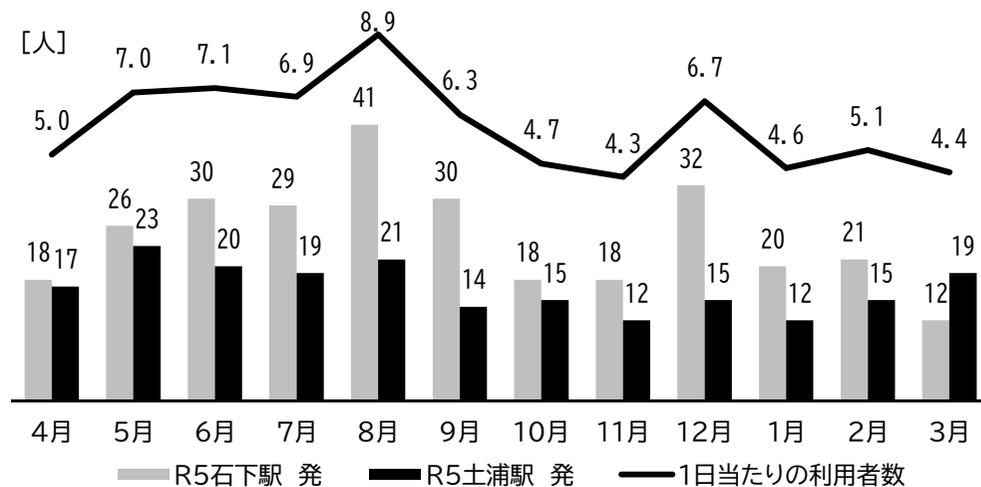
[停留所別利用者数]

- 石下駅発では学園の森西以外は降車数より乗車数を上回っていることから、つくばセンター・土浦駅の利用者が乗車していると考えられる。加えて、土浦駅発では全停留所で降車数が乗車数を上回っていることから、土浦駅・つくばセンターからの利用者が降車していると考えられる。
- 乗車は学園広場公園(学園の森2丁目)、降車はまんりょう公園(学園の森3丁目)の利用が多い。

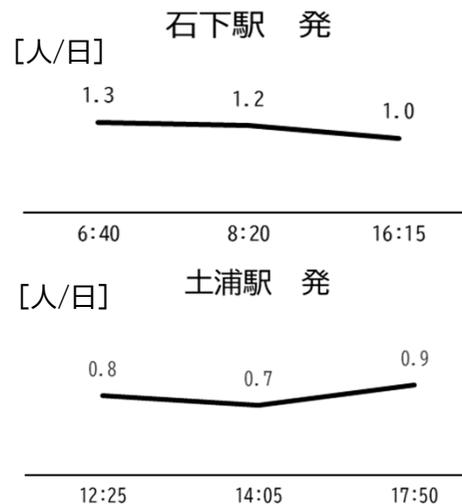
[時間帯別利用者数]

- 時間帯別利用者数に大きな差はないので、朝の通勤通学利用としての役割と昼の買い物等に利用する生活路線としての役割の双方を担っていると推測される。

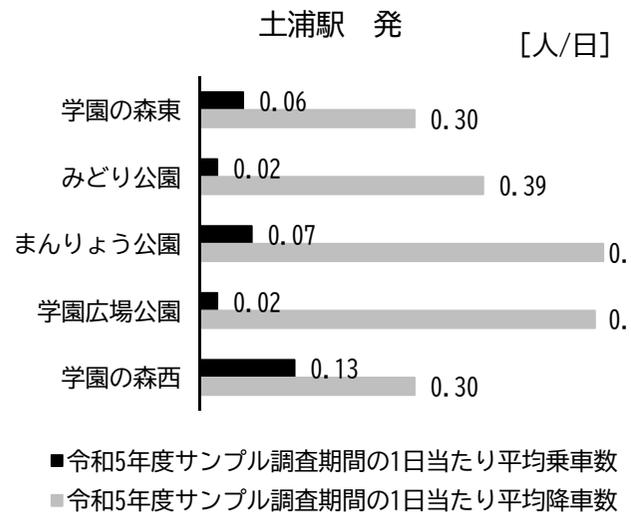
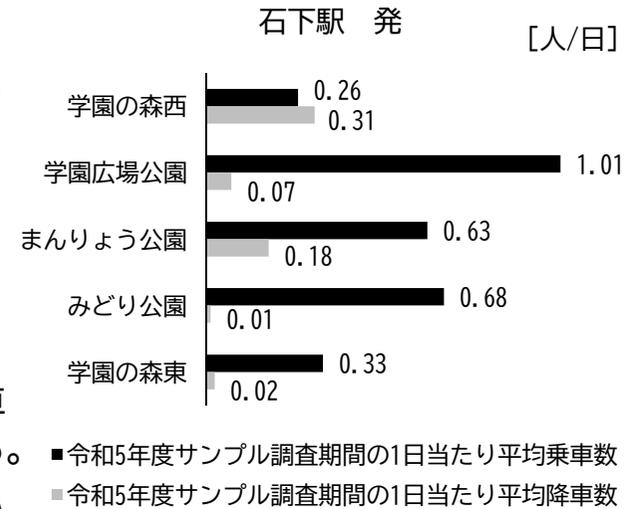
▼サンプル調査期間別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼方面別停留所別利用者数



令和5年度路線バス運行実証実験 (松代南循環)利用実績 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)



路線バス運行実証実験事業(松代南循環) 利用状況

[月別利用者数]

- 令和5年度の合計利用者数は42,034人であり、1日当たりの利用者数は115.8人であった。
- 月別に見ても、前年度と比較可能な月に関しては、500人以上の利用者数の増加が見られた。
- 1便当たりの平均利用者数は5.0人である。損益分岐点となる利用者数(約14人)を下回っている。

[停留所別利用者数]

- 停留所別では、「宮下児童公園南」及び「松野木東」の利用者が多く見られた。
- そのほか、松代循環と同一の停留所である「手代木団地」と「つくばセンター」での乗降が多く見られた。

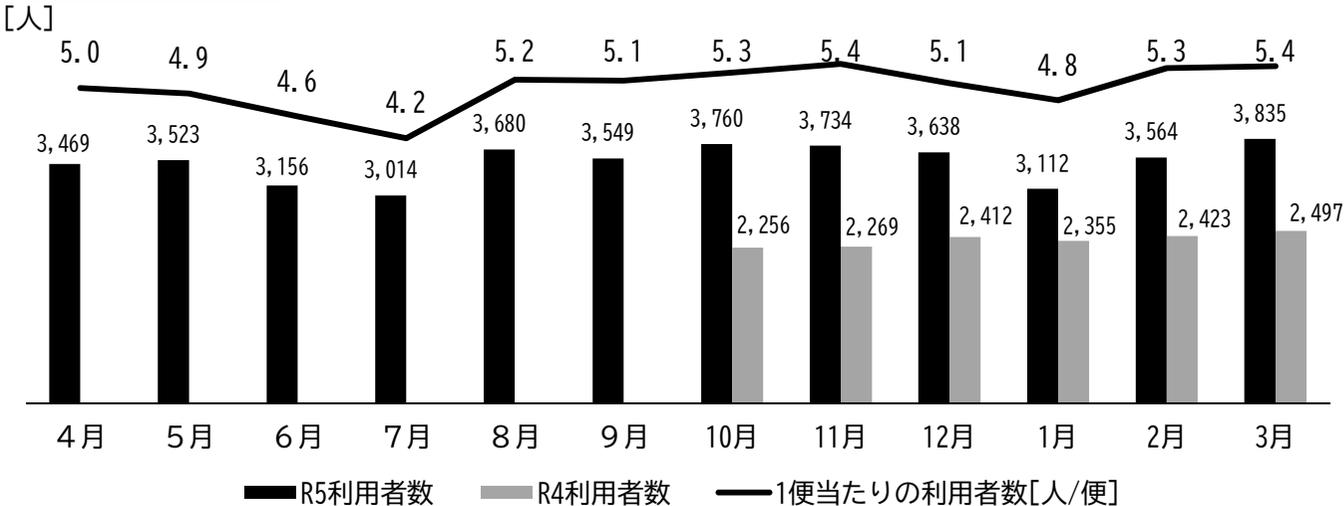
[時間帯別利用者数]

- 朝と夜の利用がほかの時間帯と比べて多いことから、通勤通学で利用している人が多いものと推測される。

▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	乗車	降車	合計
1 つくばセンター	50.2	0	50.2
2 宮下児童公園南	1.3	11.4	12.7
3 松野木東	1.0	6.2	7.2
4 松野木西	0.6	3.2	3.8
5 松代五丁目東	3.8	5.5	9.3
6 手代木中学校前	7.3	6.3	13.6
7 手代木団地	12.1	12.5	24.6
8 松代	2.0	1.3	3.3
9 松代五丁目	5.3	2.6	7.9
10 松代南	4.2	1.4	5.6
4 松野木西	4.4	0.4	4.8
3 松野木東	10.2	0.5	10.7
2 宮下児童公園南	13.4	1.1	14.5
1 つくばセンター	0	63.5	63.5

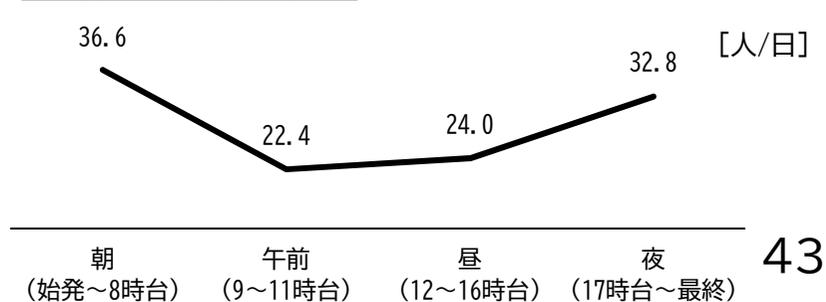
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R5	115.8	5.0

▼時間帯別利用者数



利用実績まとめ(前年度比較)

[施策別利用者数]

- つくバスは、前年度と比較して利用者数の増加が見られた。また、令和5年度の利用者数はシャトル型運行を開始した平成23年度以来、過去最高の記録となった。
- つくタクは、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が激減して以来、利用者数が増加していたが、今年度利用者の減少が見られた。
- つくばね号は、前年度より1か月当たりの利用者数が増加した(R5:512人、R4:412人)。1便当たりの利用者数が、目標の1.0人を上回ったため、現時点では、国に申請している補助金(フィーダー系統補助)の要件(利用者数)を満たしている。

[路線・地区別利用者数]

- つくバスのシャトル別に見ると、北部シャトルでは収支率105%を達成し、黒字化した。一方、谷田部シャトルでは小学校の開校により通学利用が減少し、利用者数が減少した。
- つくタクの地区ごとに見ると、筑波・大穂・豊里・桜地区で減少が、谷田部・荃崎地区で増加が見られた。

▼公共交通施策別利用者数(表)

公共交通施策	利用者数		R5-R4 比較	R5-R4 増減率
	R5	R4		
1 つくバス	1,132,827	981,786	151,041	15%
(1)北部シャトル	394,089	330,101	63,988	19%
(2)小田シャトル	70,381	59,549	10,832	18%
(3)作岡シャトル	83,561	72,654	10,907	15%
(4)吉沼シャトル	71,314	57,527	13,787	24%
(5)上郷シャトル	85,962	68,535	17,427	25%
(6)西部シャトル	18,884	16,235	2,649	16%
(7)南部シャトル	243,646	223,978	19,668	9%
(8)谷田部シャトル	72,670	74,324	▲ 1,654	-2%
(9)自由ヶ丘シャトル	38,381	33,113	5,268	16%
(10)荃崎シャトル	53,939	45,770	8,169	18%
2 つくタク	48,552	48,789	▲ 237	0%
(1)筑波地区	7,172	7,399	▲ 227	-3%
(2)大穂・豊里地区	8,646	8,958	▲ 312	-3%
(3)桜地区	8,053	8,151	▲ 98	-1%
(4)谷田部地区	16,957	16,831	126	1%
(5)荃崎地区	7,724	7,450	274	4%
3 つくばね号	6,138	2,469	3,669	49%

(※)つくばね号の令和4年度データは、令和4年10月から令和5年3月までの合計

令和6年度 つくバス利用実績(速報値) (令和6年4月1日～令和6年5月31日)

※数値は速報値のため、今後変更になる可能性があります。



令和6年4月改正の概要

- 令和6年4月からバス運転士の改善基準告示(バス運転士の労働時間に関する基準)が改正され、時間外労働の制限やこれまで以上の休息時間の確保が求められる。また、全国的なバス運転士不足問題がつくバスを運行する関東鉄道(株)でも深刻となっていることから、つくバス全シャトルで令和6年4月から減便を伴うダイヤ改正を実施

シャトル名	改正前	改正後			
	平日・土日祝日共通	平日		土日祝日	
	便数	便数	減少率	便数	減少率
1北部シャトル	57便	49便	14.0%	41便	28.1%
2小田シャトル	30便	22便	26.7%	16便	46.7%
3作岡シャトル	34便	28便	17.6%	22便	35.3%
4吉沼シャトル	22便	20便	9.1%	16便	27.3%
5上郷シャトル	24便	20便	16.7%	18便	25.0%
6西部シャトル	20便	18便	10.0%	10便	50.0%
7南部シャトル	58便	52便	10.3%	38便	34.5%
8谷田部シャトル	30便	27便	10.0%	22便	26.7%
9自由ヶ丘シャトル	20便	18便	10.0%	14便	30.0%
10荃崎シャトル	22便	20便	9.1%	16便	27.3%
合計	317便	274便	13.6%	213便	32.8%

令和6年度つくバス利用者数(全体)

- 令和6年4月と5月の利用者(全シャトル計)は、前年同期と比較して増加している。
- 各シャトル別の利用者は、小田シャトルの4月、5月と上郷シャトルの5月が前年同期と比較して減少している。小田と上郷以外のシャトルは、4月と5月の両方で前年同期よりも利用者が増加している。

▼シャトル別・月別利用者数一覧

[人]

シャトル	令和6年度		令和5年度												
	4月	5月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北部	33,360	36,090	31,437	35,939	31,484	31,449	31,507	31,216	34,307	35,109	33,861	30,494	31,647	35,639	394,089
小田	4,971	5,146	5,886	6,239	5,839	5,857	5,706	5,878	5,993	5,907	5,704	5,611	5,509	6,252	70,381
作岡	7,128	7,150	6,561	6,958	7,096	6,862	6,997	6,868	7,158	6,708	6,973	6,331	7,220	7,829	83,561
吉沼	6,401	6,196	5,260	5,366	5,188	5,661	6,128	5,578	5,984	5,925	6,360	5,785	6,480	7,599	71,314
上郷	6,801	6,820	6,662	6,982	6,959	7,187	7,708	7,376	7,250	7,102	7,231	6,691	7,108	7,706	85,962
西部	1,604	1,999	1,492	1,864	1,836	1,431	1,008	1,606	1,728	1,661	1,566	1,541	1,626	1,525	18,884
南部	21,050	21,490	20,312	20,788	21,524	19,708	19,051	19,728	21,122	20,869	20,095	19,044	20,123	21,282	243,646
谷田部	6,723	6,950	5,391	6,184	6,396	5,719	5,660	6,163	6,047	6,097	6,178	5,966	6,100	6,769	72,670
自由ヶ丘	3,674	3,748	2,987	3,036	3,061	3,265	3,349	3,307	3,459	3,210	3,229	2,987	3,042	3,449	38,381
荃崎	5,031	5,102	4,380	4,525	4,547	4,402	3,761	4,290	4,746	4,522	4,643	4,570	4,665	4,888	53,939
合計	96,743	100,691	90,368	97,881	93,930	91,541	90,875	92,010	97,794	97,110	95,840	89,020	93,520	102,938	1,132,827

第2次つくば市地域公共交通計画策定業務について

令和6年(2024年)7月4日(木)

総合交通政策課

(1) 事業者選定委員会の結果報告

▼ 委託事業者

一般財団法人計量計画研究所

▼ 件名

6-7公共交通政策点検・評価業務及び交通計画策定業務委託

▼ 履行期間

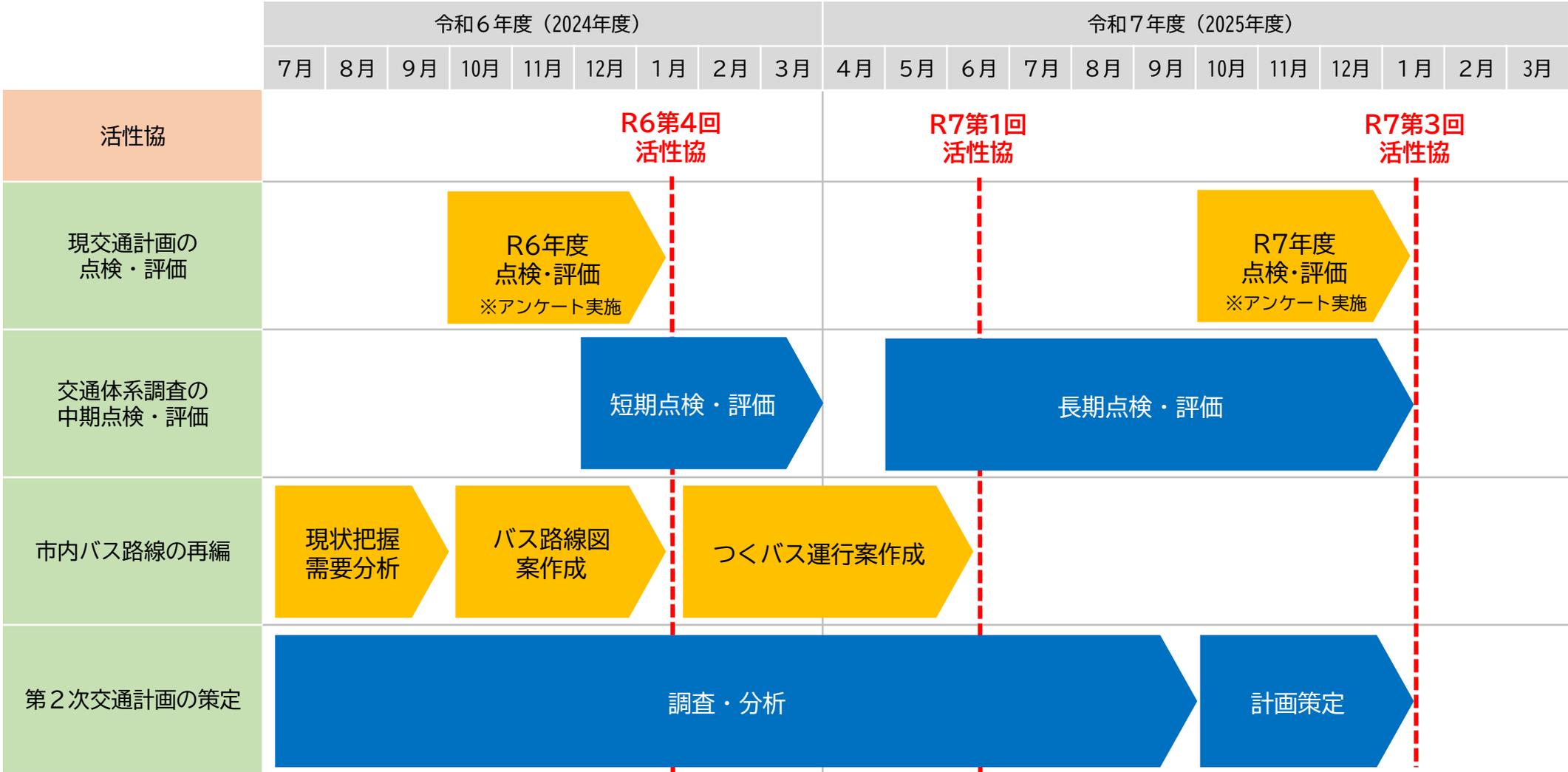
令和6年(2024年)7月～令和8年(2026年)3月

▼ 業務内容

- ① 現交通計画(令和3年4月～)の点検・評価
- ② 交通体系調査(平成28年3月～)の中期点検・評価
- ③ 市内バス路線の再編
- ④ 第2次交通計画(令和8年4月～)の策定



(2) スケジュール(案)



(3) 幹事会の開催

つくば市公共交通活性化協議会 第9条(幹事会)

協議会に提案する事項について調査、検討、会議をするため、必要に応じて協議会に幹事会を置くことができる。

▼ 協議内容

第2次交通計画について

▼ 開催時期

令和7年度中に3～4回程度(予定) ※令和6年度中も必要に応じて開催

▼ 組織

- ・ 一般乗合旅客自動車運送事業者
- ・ 一般乗用旅客自動車運送事業者
- ・ 茨城県知事の指名する者
- ・ 学識経験者
- ・ 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局長またはその指名する者
- ・ 幹事会が特に必要と認める者



報告案件 3

中学3年生（相当）に対するリーフレットの配布（令和6年度）計画について

1 趣旨・目的

中学3年生（受験生）を対象に、公共交通の乗り方や利用のメリットを紹介するリーフレットの配布及び、県バス協会の協力により県内の路線バスが1乗車につき100円で利用できる「バスお試し乗車券」の配布を行い、進学先（受験先）を決める際に通学手段を確認してもらうことで、受験生や保護者の公共交通利用に関する意識の醸成及び利用促進を図る。

2 バスお試し乗車券の内容

- (1) 対象者：茨城県内の中学校及び義務教育学校に在籍する令和6年度中学3年生（義務教育学校9年生）の生徒
- (2) 有効期間：令和6年7月22日（月）～令和6年8月31日（土）※41日間
- (3) 使用方法：
 - ①リーフレットからバスお試し乗車券を切り離し、見学先の高校、乗降バス停、所属学校を記入
 - ②降車の際に、バスお試し乗車券をバス運転手に掲示後、整理券及び現金100円と一緒に運賃箱に投入（乗車券1枚につき、片道1乗車の利用が可能）
 - ③バスお試し乗車券は、下記バス会社運行路線バス（高速バス及び深夜バス除く）及び事業に協賛いただけるコミュニティバスでア～ウに該当する場合のみ利用可
 - ア 茨城県内での乗降
 - イ 茨城県内で乗車し、茨城県外で降車
 - ウ 茨城県外で乗車し、茨城県内で降車

<対象バス事業者>

関東鉄道(株)、茨城交通(株)、大和交通自動車(株)、朝日自動車(株)、茨城急行自動車(株)、ジェイアールバス関東(株)、(株)昭和観光自動車、椎名観光バス(株)、(株)池田交通及び一部コミュニティバス運行事業者

3 配布対象…次の228校の中学3年生（義務教育学校9年生）に配布

- (1) 公立中学校、義務教育学校・・・217校
- (2) 国立大学附属中学校・・・1校
- (3) 私立中学校・・・10校

4 配布部数…約26,000部

- (1) 生徒及び保護者分…生徒1人につき1部（バスお試し乗車券2枚入り）
- (2) 教師分…各学校の学級数ごとに1部
- (3) その他…予備分として学校ごとに5部

5 実施スケジュール案

6月下旬以降、県交通政策課より各学校に配布。

	R6 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R6年度 (R6夏) 実施	★県バス協会 乗合委員会にて 協議		★活性化会議 幹事会	←意見募集※	←運賃協議会※	★活性化会議 総会 リーフレット作成	★事業者から運輸局へ届出提出 ★各中学校等へ送付	★中学校にて生徒に配布 ←実施		★実績報告 (バス協会)

※R5.10.1改正道路運送法により、各市町村の運賃協議会における協議に先立ち、住民や利用者等の意見

を募集する必要がある。

→新たに追加する路線（ルート）がある場合、各市町村の交通会議において、意見募集及び運賃協議会を実施。

ただし、R5年度に参画していた路線やコミバス（ルート）については、そのR6年度までにルートを変更した場合であっても、R5年度に当該路線全域について届出しているため、R6年度の協議は不要。

6 実績

○平成27年度（平成28年春配布）から令和5年度（令和5年夏配布）までの配布状況

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(R5春)	R5(R5夏)
作成部数	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	34,000	34,000	33,000	29,000
実施期間	28日間	28日間	26日間	26日間	26日間	49日間	49日間	49日間	42日間
高校数	123	123	122	121	120	145	146	147	267
新入生数	26,753	26,235	25,870	25,307	24,742	23,674	23,850	23,972	24,878
利用枚数	1,353	1,393	1,349	1,893	1,076	2,470	1,981	1,775	882

※1 令和3年度までは3～4月に実施していたが、令和5年度からは7～8月に実施。

※2 対象者 令和3年度まで：新高校生のみ 令和4年度：新高校生及び新中高一貫校入学生
令和5年度から：中学3年生（義務教育学校等は中学3年生相当）

7 市の対応

本事業は、学校教育モビリティ・マネジメントの推進及び公共交通利用者の増進に資する取組であることから、つくば市コミュニティバス「つくバス」全路線及び松代南循環について、本事業に協賛し、対象期間中にバスお試し乗車券の利用を可能とする。

○つくば市内学校配布計画

配布区分	中学校名	R6配布部数
つくば市立	桜中学校	135
	竹園東中学校	226
	並木中学校	131
	谷田部中学校	157
	高山中学校	122
	手代木中学校	195
	豊里中学校	150
	大穂中学校	170
	谷田部東中学校	241
	吾妻中学校	99
	荃崎中学校	69
	高崎中学校	118
	研究学園中学校	20
	みどりの南中学校	10
	春日学園義務教育学校	141
秀峰筑波義務教育学校	149	
つくば市立	学園の森義務教育学校	158
	みどりの学園義務教育学校	135
私立中学校	茗溪学園中学校	244
つくば市内合計		2,670

お試し
乗車券付き

友達
同じ方向の子と
仲良くなれるチャンス!



環境に優しい
毎日誰でも取り組める
小さなSDGs



規則正しい
生活が身につく



アンケートに
ご協力ください!
(詳しくは裏面)

学習
通学のスキマ時間を
使った学習は
タイプ最高!



情報収集
ゆっくり座って
SNSチェック&動画も
見放題!



バス通にしたら
ガチで差がつく高校生活!!

エコ通学の ススメ

2024夏



地域の活性化に
貢献できる



中学3年生の皆様、保護者の皆様
志望校まで通学体験してみませんか?

[令和6年度中学3年生限定] ご利用日: 月 日 ご利用する前に
ご記入ください

バスお試し乗車券	
乗車バス停:	降車バス停:
通っている学校名:	見学する学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。
有効期間 ▶ 令和6年7月22日(月)~令和6年8月31日(土)

[令和6年度中学3年生限定] ご利用日: 月 日 ご利用する前に
ご記入ください

バスお試し乗車券	
乗車バス停:	降車バス停:
通っている学校名:	見学する学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。
有効期間 ▶ 令和6年7月22日(月)~令和6年8月31日(土)

バスの乗り方 (バスお試し乗車券の使い方)



Step 1 乗車前の準備

- ・**お試し乗車券に必要事項を記入しておきます。**
- ・あらかじめ小銭を用意しておくとおスムーズに利用できます。
- ※お試し乗車券を利用する際は現金のみですが、通常はICカードも使えます。

Step 2 バス停に着いたら

- ・行きたい方面の時刻表をバス停で確認してください。
- ・バスが到着したら行き先表示を確認しましょう。

Step 3 バスに乗車したら

- ・整理券発券機のランプが点滅していたら整理券を取りましょう。(始発区間で整理券が発券されない場合や整理券発券機が無い場合、もしくはカバーがかかっている場合などではそのまま乗車してください。)

Step 4 バスを降りる前に

- ・バス車内前方のバス停名表示機に降りるバス停名が表示されます。車内放送でバス停が案内されたら近くにある降車ボタンを押してください。

Step 5 目的のバス停に到着したら

- ・**お試し乗車券と整理券、現金100円を運転席横にある運賃箱の投入口に入れて降車してください。**

【現金、ICカードで利用する場合】

- ・車内前方の区間別運賃表と、手元の整理券番号を確認してください。整理券がない場合は「無券(0)」の運賃を確認しましょう。現金の場合は、つり銭の必要のないように用意します。ICカードの場合は降車口のカード読み取り部にタッチしてください。

バスや鉄道で通学するメリットとは



バスや鉄道での移動中は、読書や音楽鑑賞、スマホ操作など、その時間を自分のペースで有効に活用でき、天候や季節を問わず、安全で快適に過ごすことができます。また、毎日決まった時刻のバスや鉄道を利用することで、自然と規則正しい生活習慣が身に付くというメリットもあります。

定期券ならこんなにお得!

- 1ヵ月定期券は、通常運賃の、なんと**40%割引!**
- 3ヵ月定期券は、さらに**5%割引**になります。



- ・IC定期券はチャージをすれば、通常のICカードとしてもご利用可能!(定期区間外の乗降は残高から自動精算されます)

※バス会社によって取り扱いが異なりますので、詳しくは各バス会社にお問い合わせください。

公共交通による通学に関するアンケートにご協力ください!

茨城県では、公共交通による通学に関するアンケートを実施しています。

お試し乗車券を使った感想や、公共交通を利用して通学することについて、あなたの考えを教えてください!

アンケートはこちら



【バスお試し乗車券を利用できるバス一覧】 ※一部利用できない路線がありますので、詳細はバス会社にお問い合わせください。

路線バス 高速バス及び深夜バスを除く

- 関東鉄道株 ● 茨城交通株 ● 大利根交通自動車株 ● 朝日自動車株 ● 茨城急行自動車株 ● ジェイアールバス関東株 ● 株昭和観光自動車
- 椎名観光バス株 ● ブルーバス株 ● 見進物流株(桜東バス)

コミュニティバス

- 土浦市まちづくり活性化バス「キララちゃん」 ● 龍ヶ崎市コミュニティバス
- 牛久市コミュニティバス「かっぱ号 通勤ライナー(上柏田・むつみルート、さくら台・みどり野ルート)」
- つくば市コミュニティバス「つくバス」 ● 鹿嶋市・潮来市・行方市 鹿行広域バス「神宮あやめ白帆ライン」
- 潮来市・行方市「鹿行北浦ライン」 ● 守谷市コミュニティバス「モコバス」 ● 筑西市広域連携バス ● 筑西市地域内運行バス
- 筑西市道の駅循環バス ● 筑西・下妻広域連携バス ● 坂東市 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」 ● 稲敷市コミュニティバス
- かすみがうら市・土浦市・行方市「霞ヶ浦広域バス」 ● かすみがうら市・土浦市「千代田神立ライン」 ● 桜川市バス「ヤマザクラGO」
- つくばみらい市コミュニティバス「みらい号」 ● 常総市コミュニティバス「JOYBUS」

各バス会社のお問い合わせ先はこちら



茨城県公共交通活性化会議 https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kotsuseisaku/chiikikoutsu/kotsu_ibaraki.html

【バスお試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り離し、乗車バス停、降車バス停、通っている学校名、見学する学校名を記入してからご利用ください。
- この券は、令和6年7月22日(月)から令和6年8月31日(木)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車の利用が可能です。この券は県内の令和6年度中学3年生(又は中学3年生相当)の方のみ、ご利用いただけます。
- ご利用される場合、バスを降りる際に、この券を運転手にはっきりと見えるように提示した後、整理券及び現金100円と一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社の運行する路線バス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(バスお試し乗車券を利用できるバス一覧参照)で、次の①～③に該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

- 関東鉄道株・茨城交通株・大利根交通自動車株・朝日自動車株・茨城急行自動車株・ジェイアールバス関東株・株昭和観光自動車株・椎名観光バス株・ブルーバス株・桜東バス

一般社団法人茨城県バス協会

【バスお試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り離し、乗車バス停、降車バス停、通っている学校名、見学する学校名を記入してからご利用ください。
- この券は、令和6年7月22日(月)から令和6年8月31日(木)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車の利用が可能です。この券は県内の令和6年度中学3年生(又は中学3年生相当)の方のみ、ご利用いただけます。
- ご利用される場合、バスを降りる際に、この券を運転手にはっきりと見えるように提示した後、整理券及び現金100円と一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社の運行する路線バス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(バスお試し乗車券を利用できるバス一覧参照)で、次の①～③に該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

- 関東鉄道株・茨城交通株・大利根交通自動車株・朝日自動車株・茨城急行自動車株・ジェイアールバス関東株・株昭和観光自動車株・椎名観光バス株・ブルーバス株・桜東バス

一般社団法人茨城県バス協会

つくば市公共交通活性化協議会規約

(目的)

第1条 つくば市公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するために設置する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は、つくば市役所内（つくば市研究学園一丁目1番地1）に置く。

(協議事項及び事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の協議及び業務を行う。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の様態等に関すること。
- (2) 交通空白地有償運送及び福祉有償運送の必要性並びに旅客から収受する対価に関すること。
- (3) 地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）の策定、進捗管理及び変更の協議に関すること。
- (4) 交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (5) 交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員をもって組織する。

- (1) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (2) 一般乗用旅客自動車運送事業者
- (3) 鉄道事業者

- (4) 茨城県知事の指名する者
 - (5) 茨城県警察つくば警察署長又はその指名する者
 - (6) 地区代表区長又はその指名する者
 - (7) 学識経験者
 - (8) 市長又はその指名する者
 - (9) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者
 - (10) 一般社団法人茨城県バス協会及び茨城県ハイヤー・タクシー協会
 - (11) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
 - (12) 前各号に掲げる者のほか、協議会が特に必要と認める者
- 2 委員の任期は、当該選任の日から当該会計年度の翌年度の3月末日までの期間とし、再任されることを妨げない。ただし、補欠により委嘱し、又は任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 必要に応じ、委員の追加を行うことができる。なお、追加された委員の任期は、現任者の残任期間とする。
- 4 委員は、任期満了後においても後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(役員)

第5条 協議会に次の各号に掲げる役員を置き、その定数は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 会長1人
 - (2) 副会長2人
 - (3) 監事2人
- 2 役員は、前条第1項の規定に基づき、委員となるべき者の中から、互選によりこれを選任する。
- 3 会長、副会長及び監事は、これを相互に兼ねることはできない。

(役員の仕事)

第6条 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

3 監事は、協議会の出納監査を行い、その状況を会長に報告する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は委員の過半数の出席をもって成立とする。なお、会長が認めた場合は、オンラインでの参加も出席とみなす。ただし、この場合においては、委員の自宅の一室又は勤務先の会議室等、委員以外の第三者が存在しない場所で出席するものとする。
- 3 委員は、やむを得ず会議を欠席する場合は、あらかじめ会長に申し出ることにより、その属する団体から代理の者を出席させることができる。ただし、この場合において、委員は当該代理の者に対し、欠席する委員の権限について委任状により委任を行うものとする。
- 4 会議の議決は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 緊急の議決を要する場合、又は非常事態等、委員が一同に参集できない場合は、書面による審議の上、書面表決にて決議する。
- 6 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。
- 7 協議会は、必要があると認められるときは、会員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。
- 8 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会議結果の尊重義務)

第8条 協議会で協議が調った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会)

第9条 協議会に提案する事項について調査、検討、協議をするため、必要に応じ協議会に幹事会を置くことができる。

2 幹事会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(運賃分科会)

第10条 運賃及び料金の設定又は変更に関する事項については、必要に応じ協議会に運賃分科会を置くことができる。

2 運賃分科会の組織、運営その他必要な事項は、道路運送法第9条第4項に基づき、会長が別に定める。

(選定委員会)

第11条 協議会が実施する事業について、事業者選定をする際は、必要に応じ協議会に選定委員会を置くことができる。

2 選定委員会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、つくば市都市計画部総合交通政策課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第13条 協議会の運営に要する経費は、負担金及び補助金をもって充てる。

(財務に関する事項)

第14条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(報酬及び費用の弁償)

第15条 会議に出席した委員及び第7条第7項の規定により会議に出席した者、幹事会に出席した委員及び幹事会規程第5条第4項の規定により幹事会の会議に出席した者、運賃分科会に出席した委員並びに選定委員会に出席した委員は、会議開催場所である会議室に参集しての参加の場合に、各会議及び選定委員会への出席に係る報酬並びに費用の弁償を受けることができる。また、同会議にオンラインで参加した場合、もしくは書面による表決をした場合は、同会議への出席に係る報酬のみを受けることができる。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、この限りではない。

(1) これに代わる対価を別に得ている場合

(2) 代理の者が会議に出席した場合

2 前項の報酬の額は、1回につき8,500円とし、費用の弁償の額は、1回につき2,000円とする。

3 前項の支給方法は、原則として現金による手渡しとし、オンラインによる参加、もしくは書面による表決の場合は、会議翌日以降の銀行振り込みも可能とする。

(協議会が解散した場合の措置)

第16条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第17条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成21年2月24日から施行する。

附則

この規約は、平成21年7月1日から施行し、改正後の規定は平成21年4月1日から適用する。

附則

この規約は、平成 22 年 5 月 27 日から施行し、改正後の規定は、平成 22 年 5 月 6 日から適用する。

附則

この規約は、平成 23 年 5 月 25 日から施行し、改正後の規定は、平成 23 年 4 月 1 日から適用する。

附則

この規約は、平成 26 年 5 月 27 日から施行し、改正後の規定は、平成 26 年 4 月 1 日から適用する。

附則

この規約は、平成 26 年 8 月 21 日から施行し、改正後の規定は、平成 26 年 6 月 28 日から適用する。

附則

この規約は、平成 27 年 5 月 29 日から施行する。

附則

この規約は、平成 28 年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、平成 29 年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、令和元年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、令和 2 年 3 月 18 日から施行する。

附則

この規約は、令和 3 年 6 月 3 日から施行する。

附則

この規約は、令和 4 年 6 月 28 日から施行する。

附則

この規約は、令和 5 年 6 月 19 日から施行する。

附則

この規約は、令和 6 年 1 月 18 日から施行する。